

## II 和歌山県の農林水産業の動向

### 1 農業部門

#### 1) 農業指標

本県の総農家数は33,799戸、うち販売農家数23,207戸である。販売農家のうち専兼別の比率は専業41.6%、1種兼業16.6%、2種兼業41.8%で兼業農家の比率がやや高い。(2010年「世界農林業センサス」結果より) 耕地面積は35,600haであり、その利用形態は水田30.0%、樹園地62.6%、普通畑 7.1%である。農業産出額は 9,269千万円 (構成比：米8.8% 果実56.1% 野菜17.4% 花き5.8% 畜産6.2%)

	平成22年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
総農家	戸	%	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
販売農家	23,207	(100.0)	4,444	3,872	2,700	3,921	4,450	3,300	520
専業	9,644	28.5 (41.6)	1,713	1,519	969	1,791	1,903	1,484	265
1種兼	3,854	11.4 (16.6)	567	606	435	854	802	560	30
2種兼	9,709	28.7 (41.8)	2,164	1,747	1,296	1,276	1,745	1,256	225
	平成21年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
耕地面積	ha	%	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
水田	10,700	30.0	2,848	2,043	1,065	591	2,133	1,384	667
樹園地	22,300	62.6 (100.0)	3,067	3,464	3,039	5,207	3,663	3,692	155
みかん	7,970	(35.7)	1,919	873	230	3,881	372	719	6
はっさく	1,140	(5.1)	103	555	70	223	160	26	3
うめ	5,620	(25.2)	121	201	202	73	2,606	2,404	13
もも	780	(3.5)	53	578	144	4	2	0	0
かき	2,820	(12.6)	275	654	1,865	36	10	7	3
普通畑	2,530	7.1	544	208	157	246	864	318	193
	平成21年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
農業産出額	千万円	%	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円
農業産出額	9,269	100.0	1,558	1,618	1,057	1,772	2,001	1,109	154
米	818	8.8	260	158	76	39	154	97	34
果実	5,202	56.1	619	958	734	1,375	780	725	11
野菜	1,610	17.4	488	266	75	93	594	50	44
花き	538	5.8	33	83	21	59	283	42	11
畜産	579	6.2	104	χ	χ	83	χ	χ	χ

※ ラウンドしているため、各数値の積上げが、合計と一致しない場合があります。

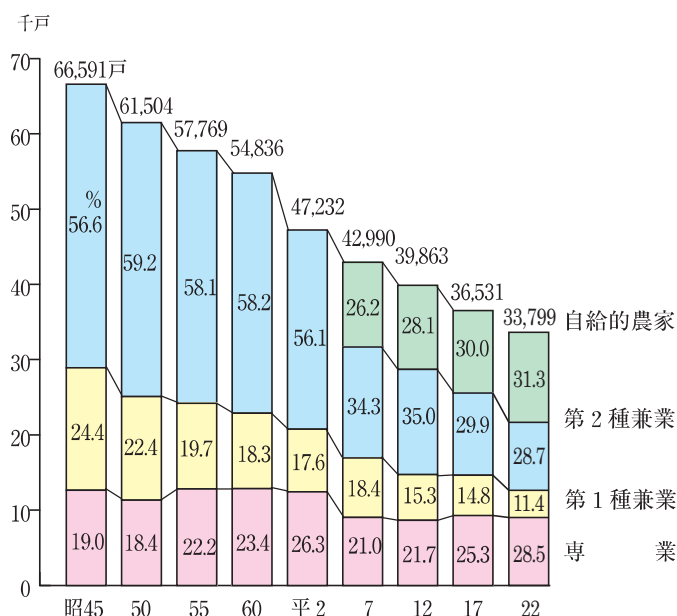
※ 「χ」は、統計法に基づく秘密保護のため、公表されていないものです。

(2010年世界農林業センサス・農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ)

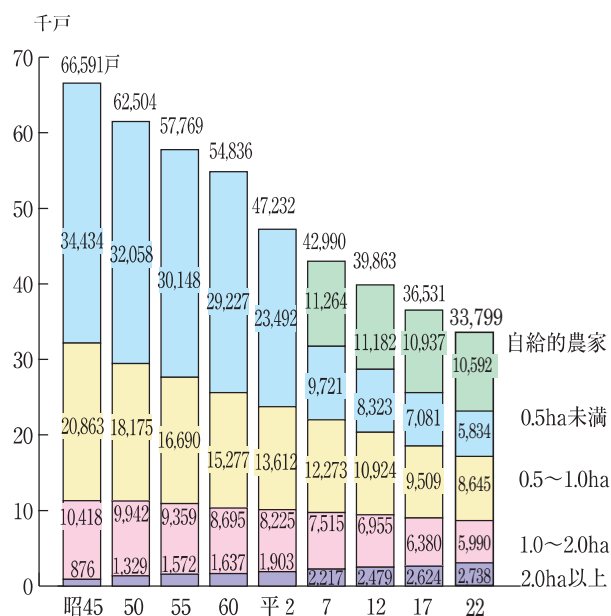
## 2) 農業を担う人々

平成22年の農家戸数は33,799戸で減少傾向が続いている。経営規模が1ha未満の農家が74.2%を占める。年齢別の基幹的農業従事者では60歳以上の占める割合が68.5%と増加している。平成7年以降、新規就農者数は増加傾向にある。

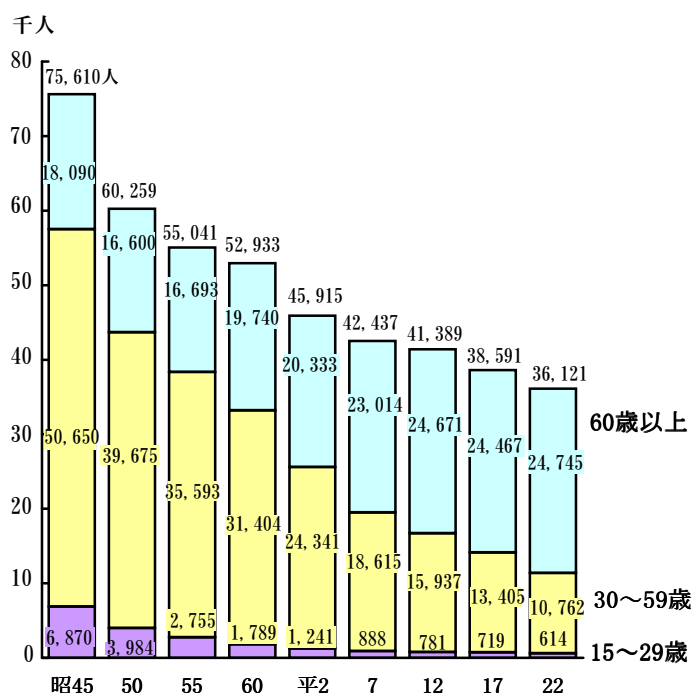
### 専兼業別農家数の推移



### 経営規模別農家数の推移



### 基幹的農業従事者数（年齢別）の推移

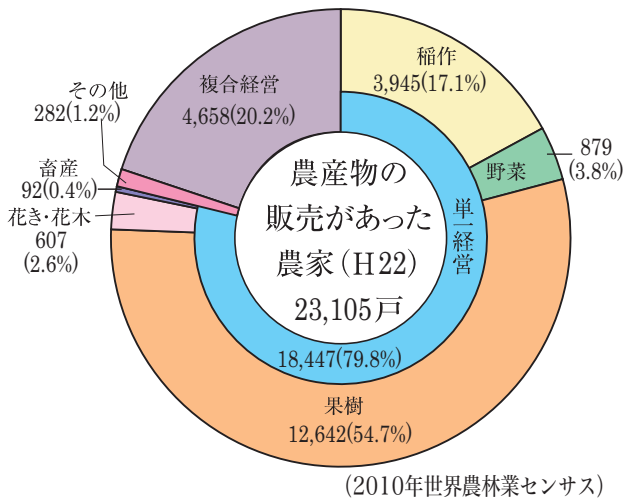


農家数	〔平22〕						
	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア (%)	県名	県名	県名
総農家数	2,527,948	33,799	36	1.3	長野	茨城	福島
販売農家数	1,631,206	23,207	33	1.4	茨城	福島	新潟

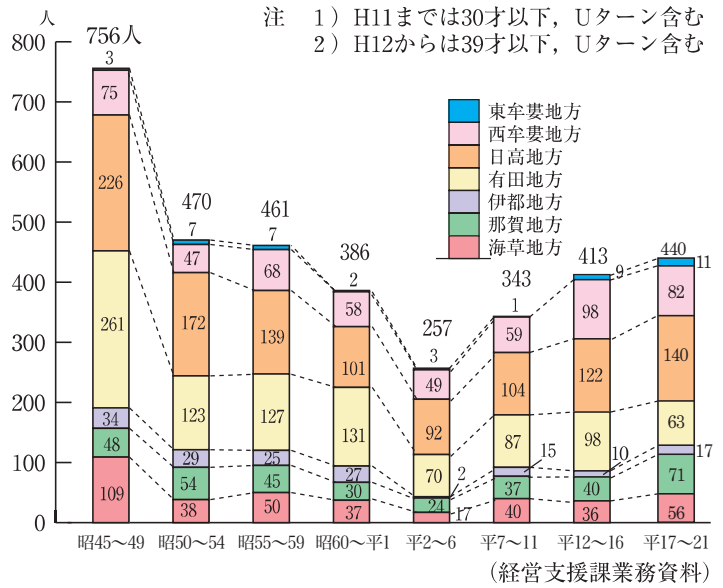
(2010年世界農林業センサス)

※本調査は、平成8年より調査対象が変更(総農家→販売農家)されていますので、ご利用の際は、ご注意ください。

### 農業経営組織別農家数（平成22年）



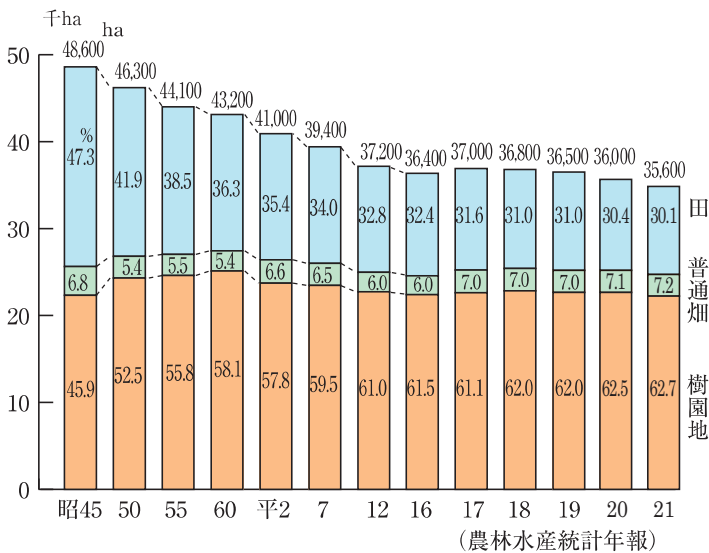
### 新規就農者数の推移



### 3) 耕地面積

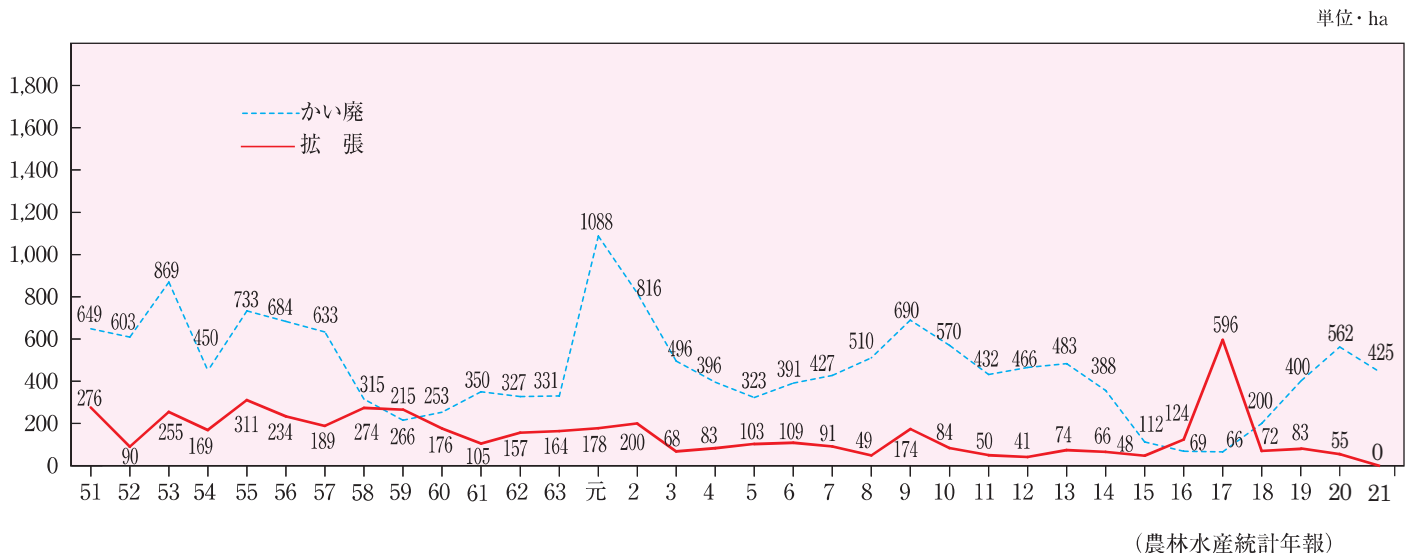
耕地面積は減少傾向にあるなかで樹園地の比率が高まっている。  
施設面積は平成9年の909ha(耕地面積の2.3%)をピークに減少している。

### 田畑別耕地面積の推移

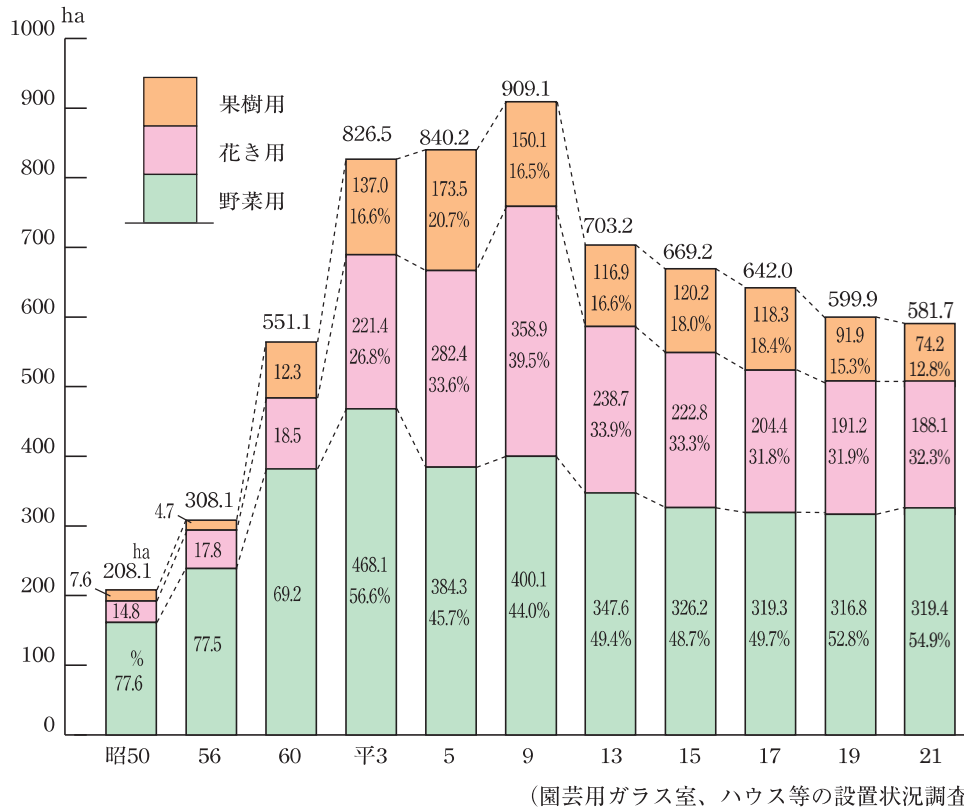


〔平21〕	全国			和歌山県		
	実数	順位	シェア(%)	1位 県名	2位 県名	3位 県名
耕地面積合計(ha)	4,609,000	37	0.8	北海道	茨城	新潟
田	2,506,000	42	0.4	北海道	新潟	秋田
畑	2,103,000	21	1.2	北海道	鹿児島	茨城

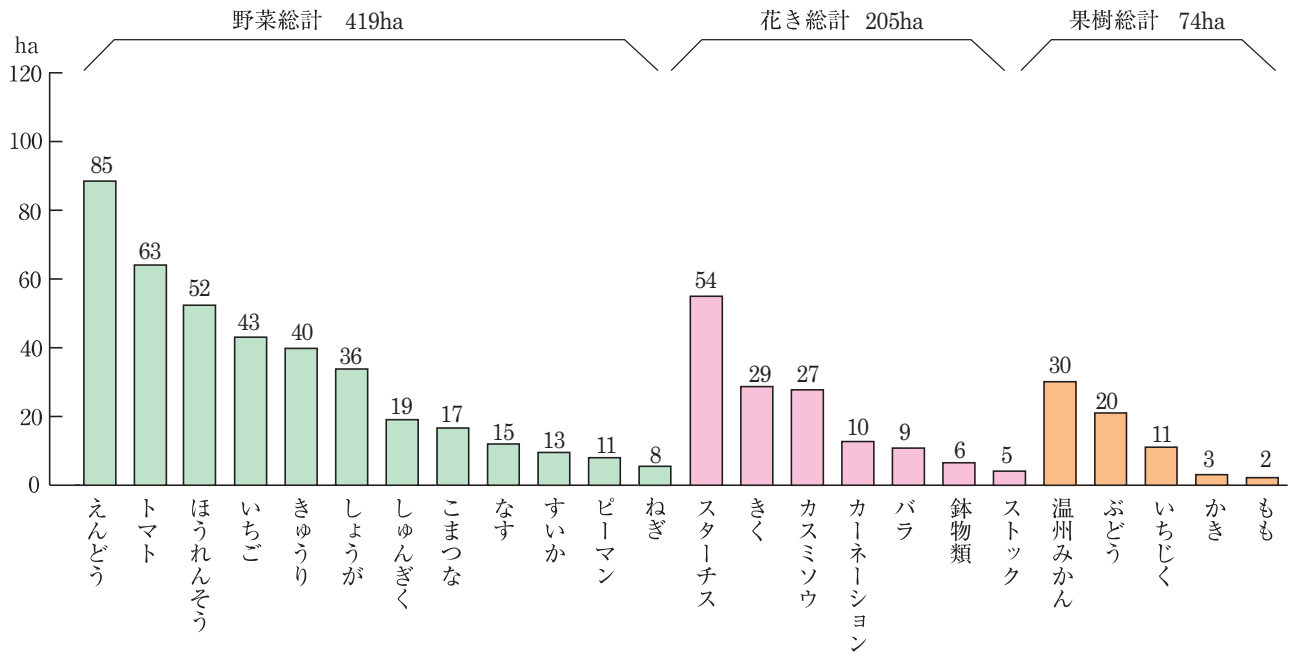
### 耕地の拡張・かい廃の推移



## 施設設置面積の推移



## 主要品目別施設栽培延面積 (平21)



### 施設園芸作付延面積の推移

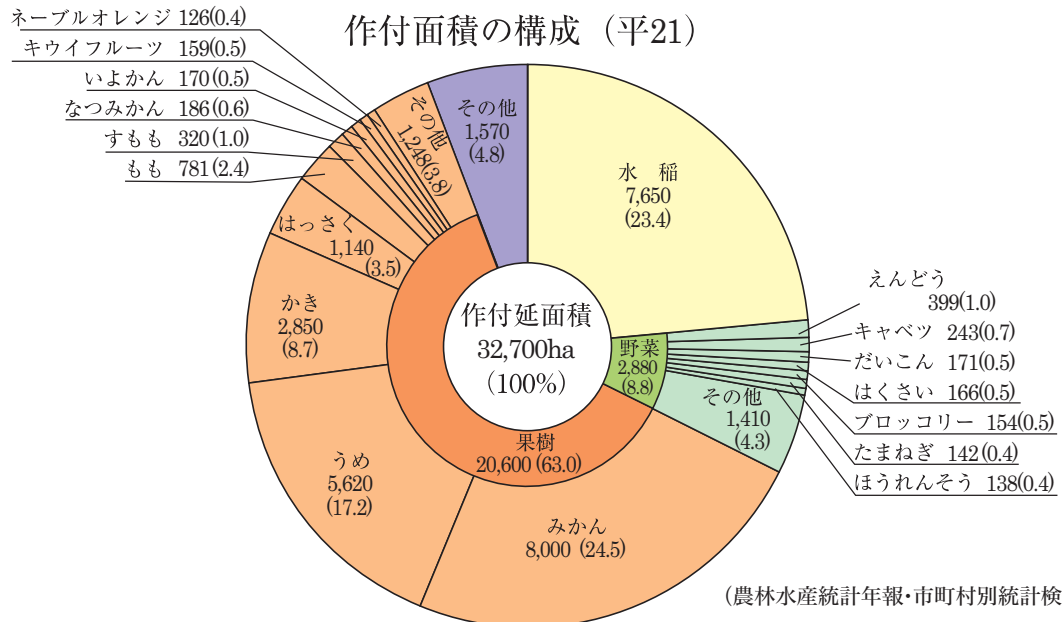
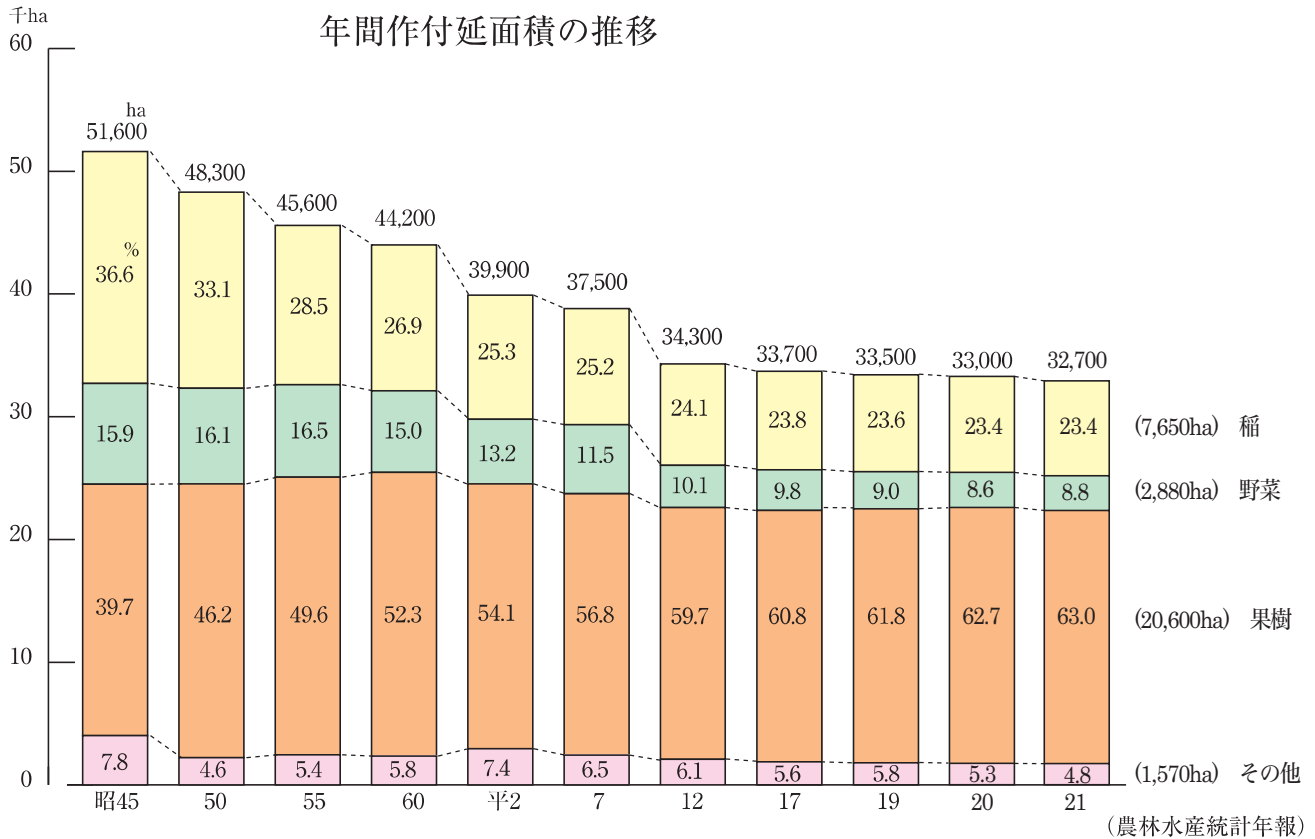
	昭50	55	60	平2	5	9	13	15	17	19	21
野菜	197	358	663	580	459	474	432	380	382	377	419
花き	35	79	180	276	353	413	266	210	220	211	205
果樹	16	15	80	137	174	150	117	120	118	92	74
合計	248	452	923	993	986	1,037	815	710	720	680	698

(園芸用ガラス室、ハウス等の設置状況調査)

## 4) 農業生産

年間作付け面積の構成 —— 果樹 (63.0%)・水稲 (23.4%)・野菜 (8.8%)

水稲、野菜の作付け面積の減少に比べ果樹の作付け面積の減少率は低く、年々果樹のウエイトが高くなっている。



作付延面積

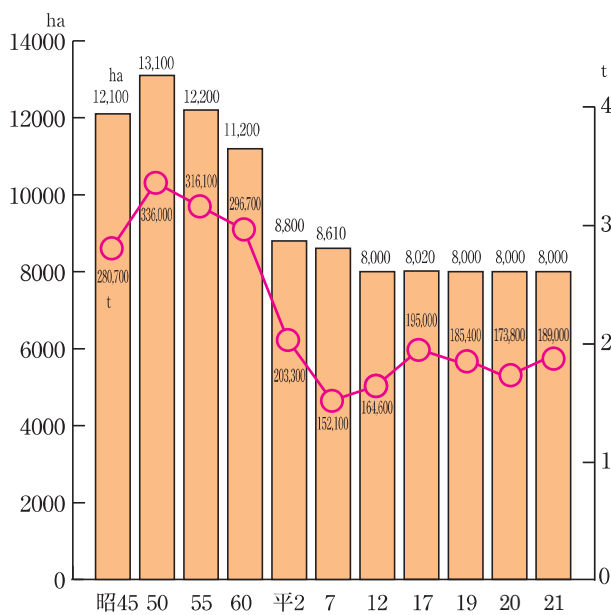
〔平21〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
作付延面積 (ha)	4,244,000	32,700	36	0.8	北海道	茨城	新潟
稲	1,624,000	7,650	42	0.5	新潟	北海道	秋田
野菜	592,300	2,880	45	0.5	北海道	千葉	茨城
果樹	250,700	20,600	3	8.2	青森	愛媛	和歌山

## かんきつ類の栽培面積及び収穫量の推移

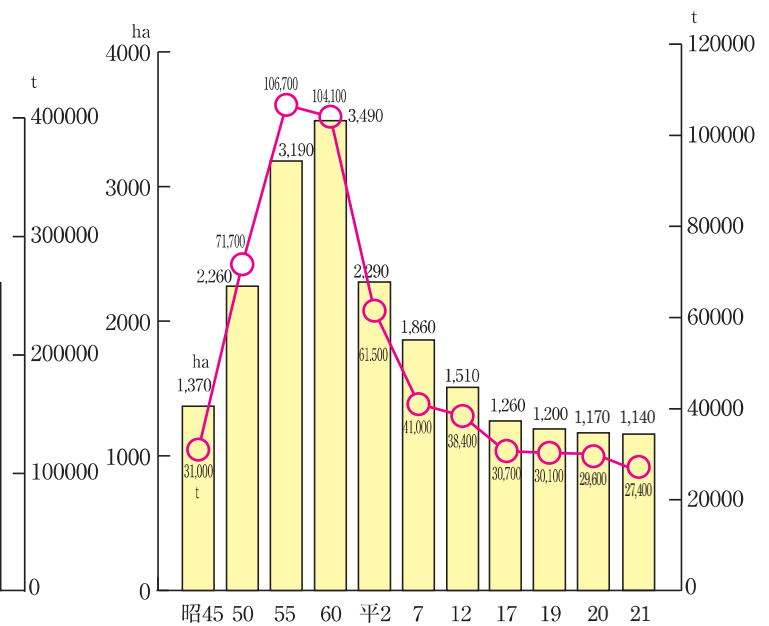
- みかん：みかんの生産過剰とオレンジ輸入自由化により、昭和50年から平成2年にかけて栽培面積は急激に減少するが、平成2年から緩やかな減少傾向となる。
- はっさく・ネーブルオレンジ：みかんの転換作物として昭和60年まで栽培面積は増加するが、収益性の低下により減少する。近年減少傾向がやや鈍化している。

平成21年の全国順位とシェア（栽培面積）—— みかん1位（16.0%）

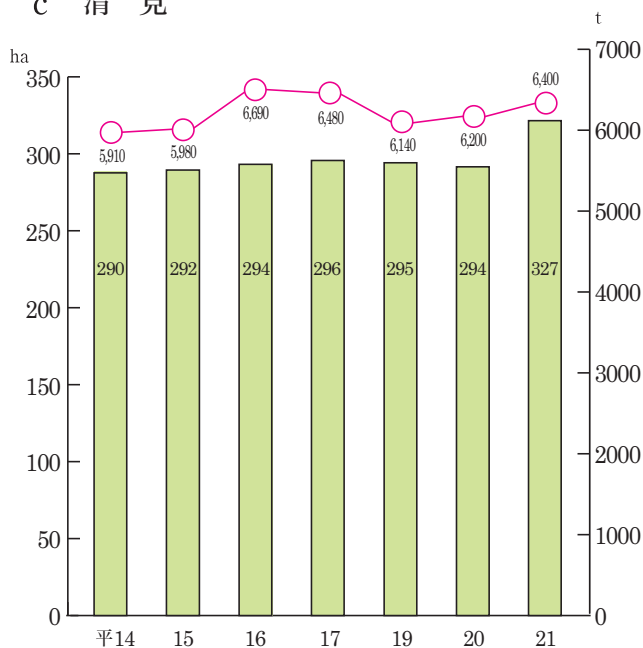
a みかん



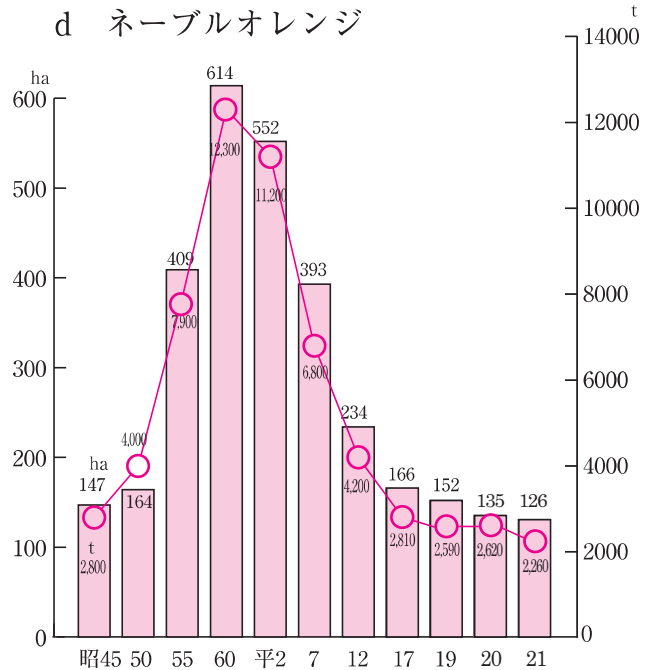
b はっさく



c 清見



d ネーブルオレンジ

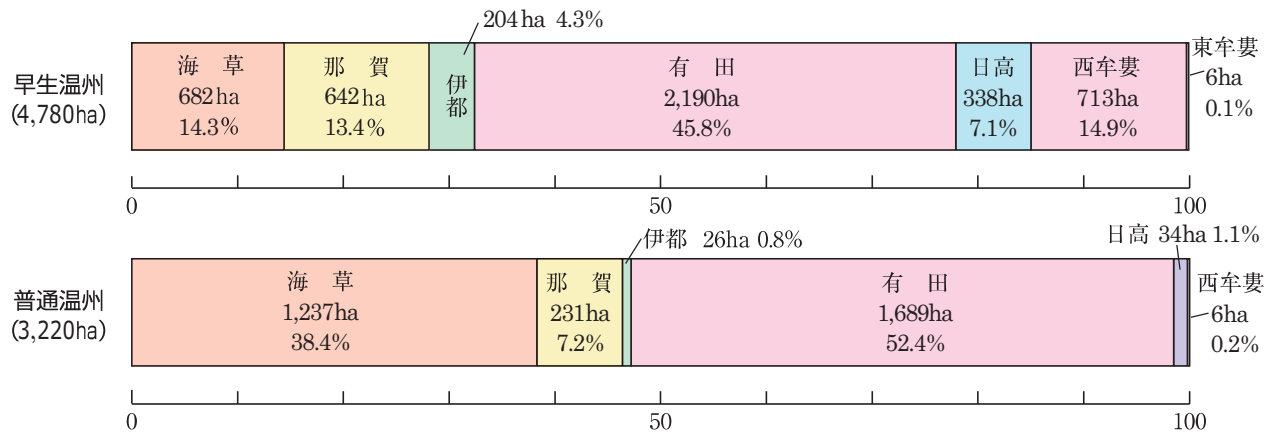


□ 栽培面積 (ha)

○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ)

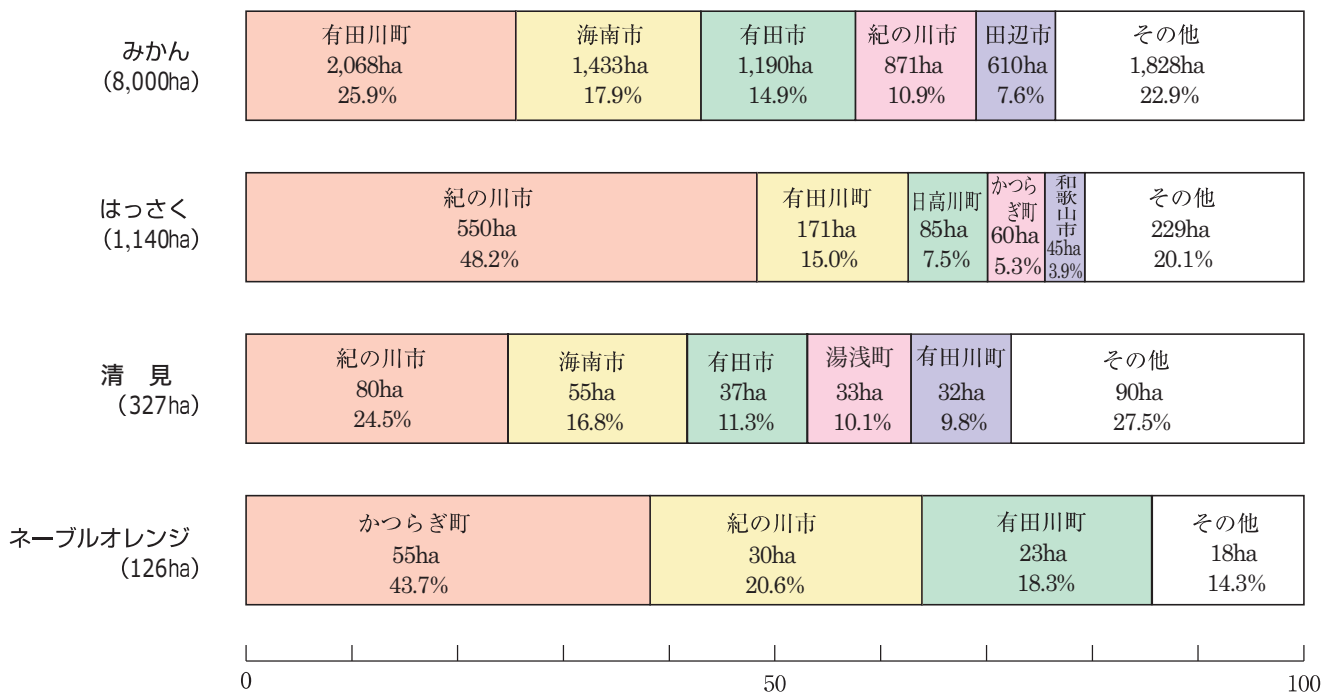
## 郡別・みかんの栽培面積（平21）



（市町村別統計検討協議会調べ）

## 市町村別・かんきつ類の栽培面積

〔上位5市町村〕（平21）



（市町村別統計検討協議会調べ）

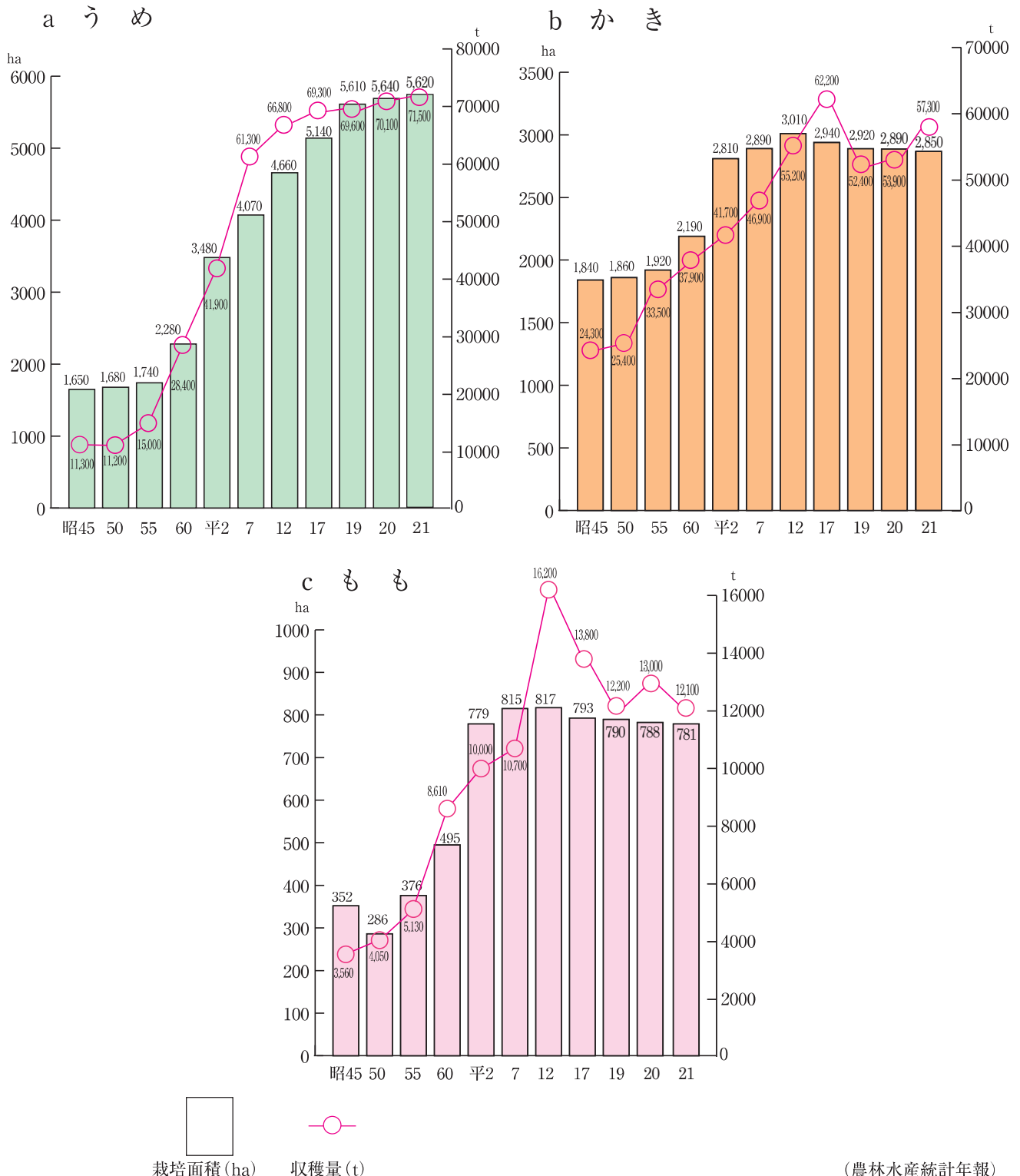
### みかんの栽培面積

〔平21〕	全国		和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
みかん	49,900	8,000	1	16.0	和歌山	愛媛	静岡

## 落葉果樹の栽培面積及び収穫量の推移

落葉果樹全体では、昭和55年以降みかんからの転作により栽培面積は増加傾向であったが、現在は横ばいである。

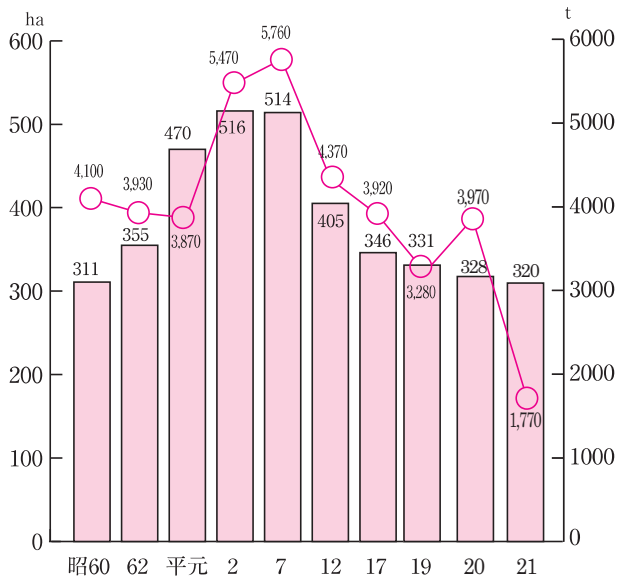
- かき・もも 昭和55年から平成2年にかけて栽培面積が急増し、それ以降は横ばいとなっている。
  - うめ 昭和55年から平成7年にかけて健康食ブームと相まって栽培面積が急増したが、近年は横ばいとなっている。
  - すもも・キウイフルーツ 平成2年をピークに栽培面積は減少傾向、キウイは減少が著しい。
- 平成21年の全国順位とシェア（栽培面積）—— うめ1位（30.9%）・かき1位（12.1%）  
もも4位（7.1%）・すもも3位（10.0%）  
キウイフルーツ3位（6.5%）



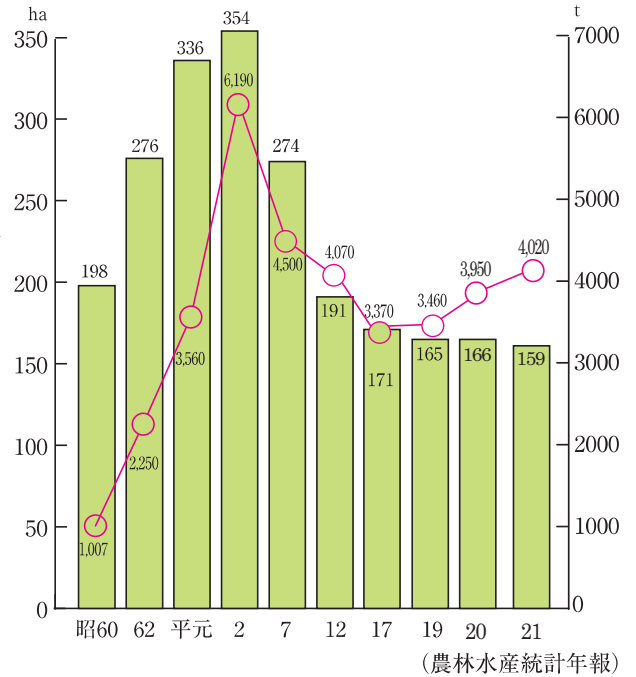
(農林水産統計年報)



d すもも

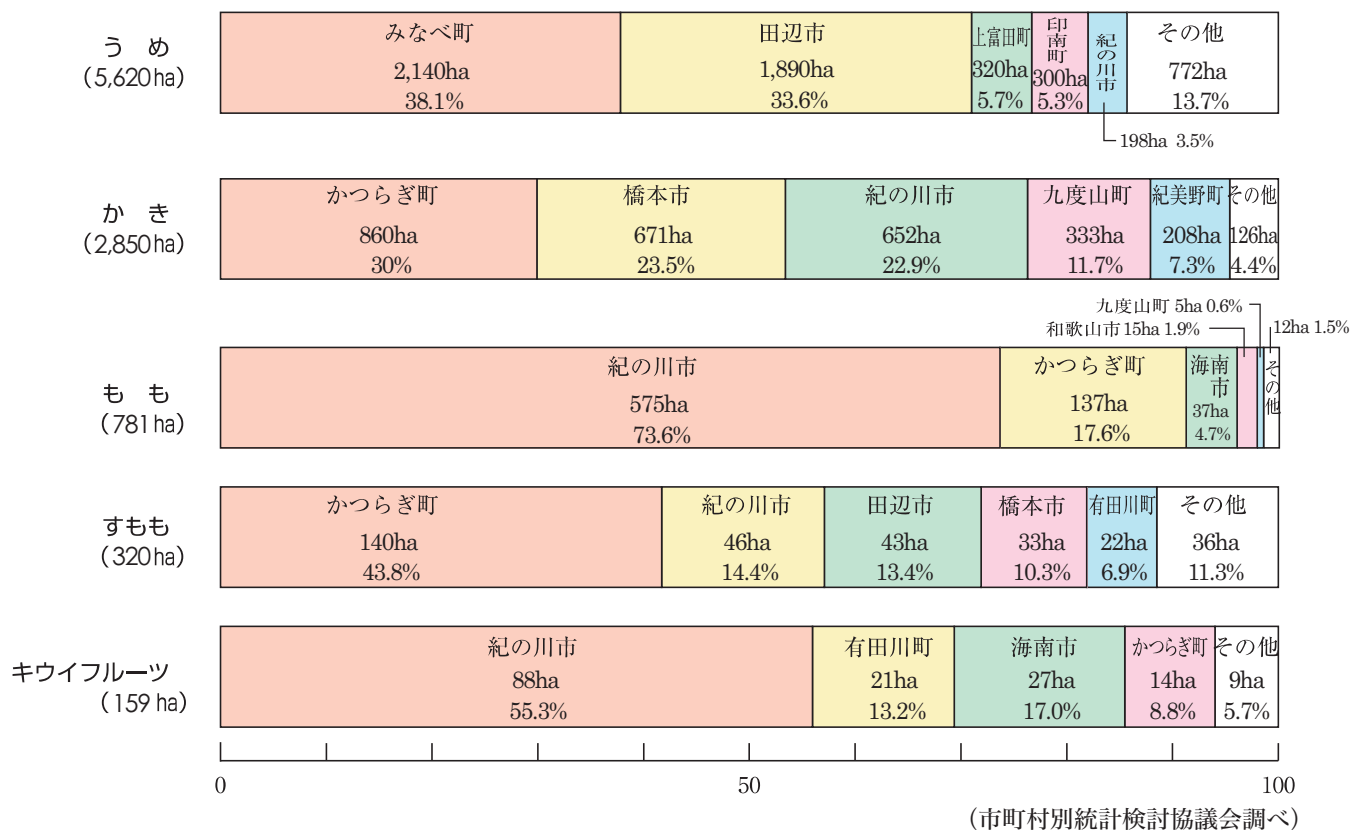


e キウイフルーツ



(農林水産統計年報)

市町村別・落葉果樹の栽培面積 (平21)

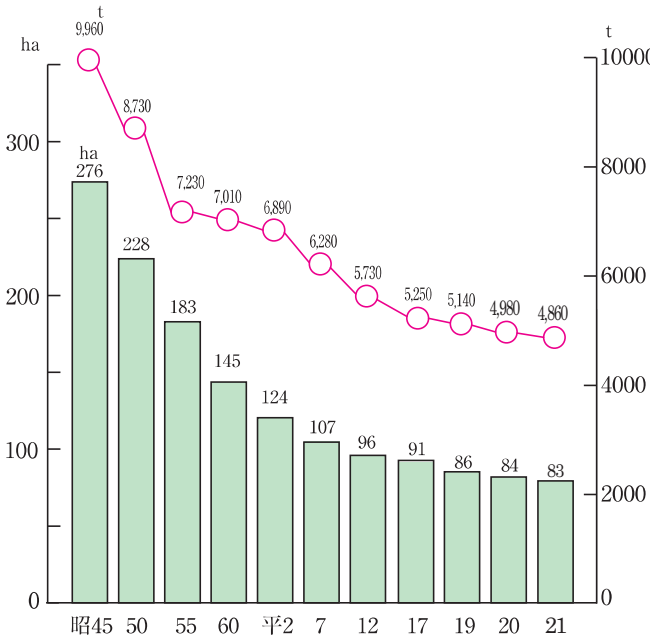


栽培面積 (落葉果樹)		(ha)					
〔平21〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
うめ	18,200	5,620	1	30.9	和歌山	群馬	長野
かき	23,600	2,850	1	12.1	和歌山	福岡	奈良
もも	11,000	781	4	7.1	山梨	福島	長野
すもも	3,200	320	3	10.0	山梨	長野	和歌山
キウイフルーツ	2,460	159	3	6.5	愛媛	福岡	和歌山

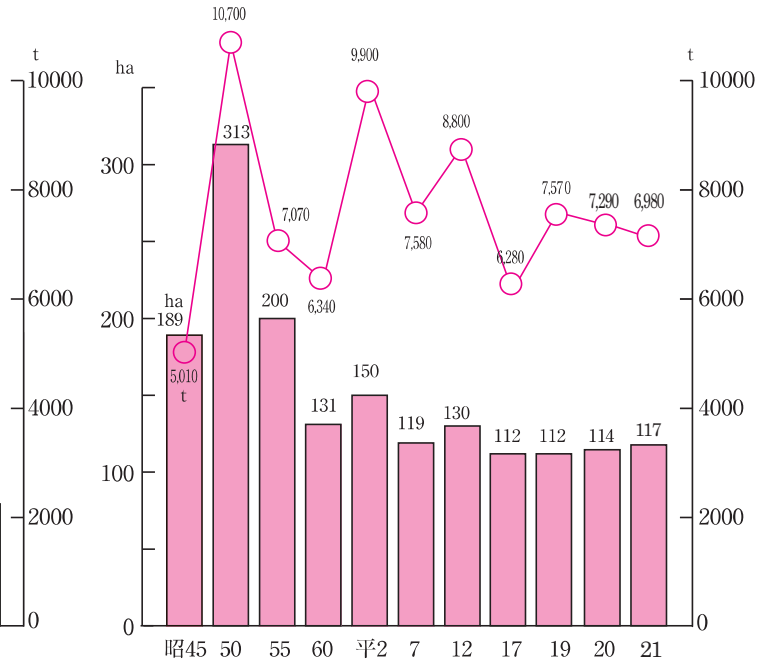
# 果菜類の作付面積及び収穫量の推移

栽培面積は減少傾向であるが、近年は横ばいで推移している。

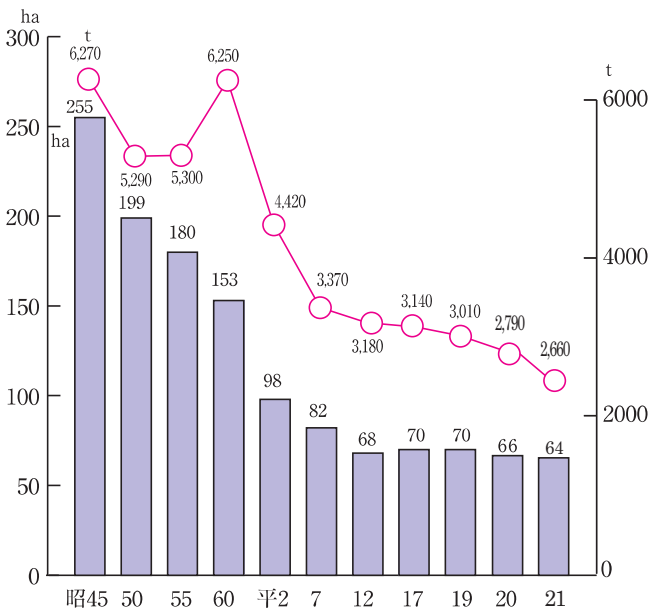
a きゅうり



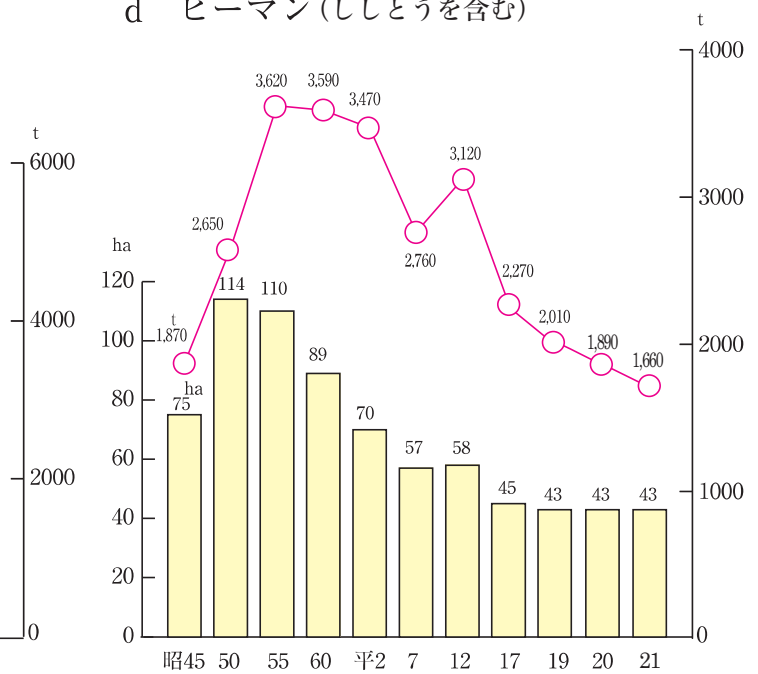
b トマト (ミニトマトを含む)



c なす



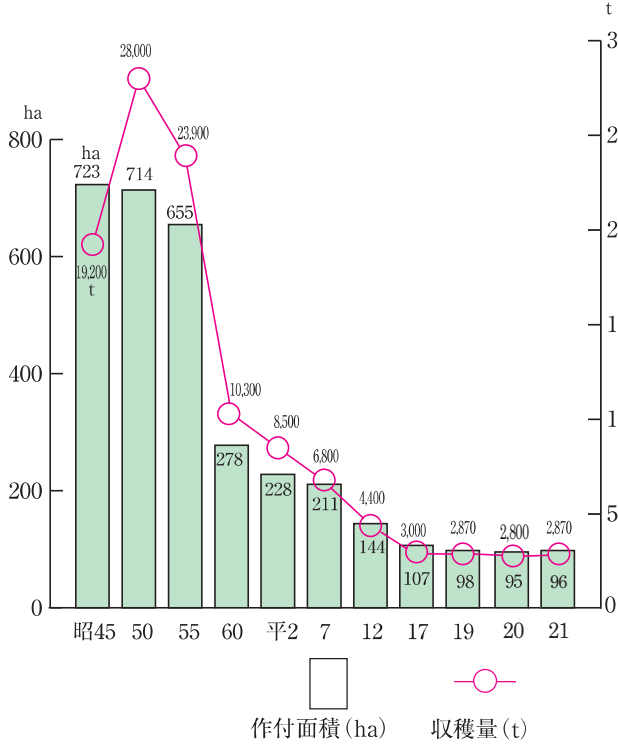
d ピーマン (ししとうを含む)



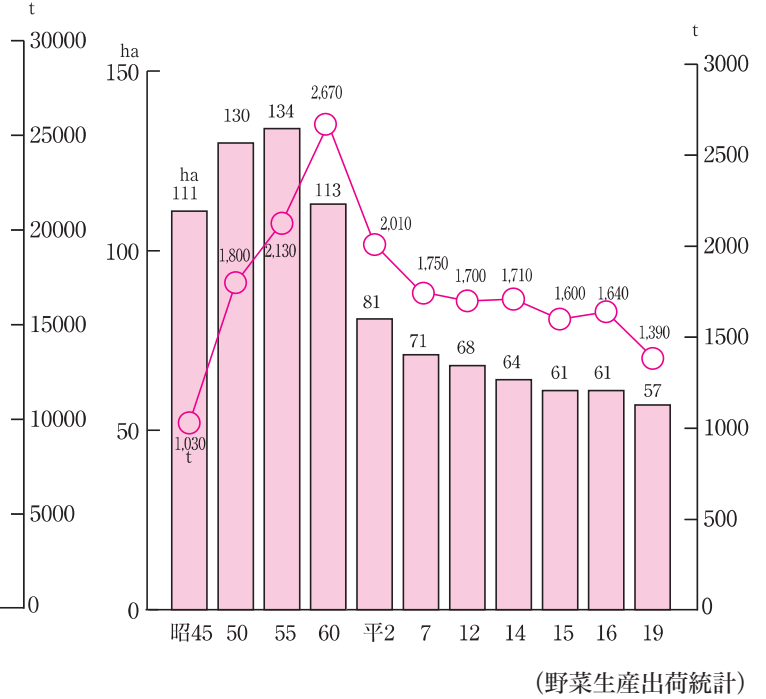
□ 作付面積 (ha)      ○ 収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

e すいか



f いちご



(野菜生産出荷統計)

市町村別・果菜類の作付面積 (平21)

きゅうり (83 ha)	紀の川市 25ha 30.1%	美浜町 11ha 13.3%	かつらぎ町 7ha 8.4%	印南町 6ha 7.2%	日高町 5ha 6.0%	その他 29ha 34.9%		
トマト (117 ha)	印南町 22ha 18.8%	紀の川市 15ha 12.8%	有田川町 14ha 12.0%	日高町 13ha 11.1%	和歌山市 10ha 8.5%	御坊市 6ha 5.1%	その他 37ha 31.6%	
なす (64 ha)	紀の川市 12ha 18.8%	和歌山市 8ha 12.5%	御坊市 5ha 7.8%	日高川町 5ha 7.8%	岩出市 4ha 6.3%	橋本市 4ha 6.3%	かつらぎ町 4ha 6.3%	その他 22ha 34.4%
ピーマン (43 ha)	有田川町 8ha 18.6%	御坊市 7ha 16.3%	和歌山市 5ha 11.6%	紀の川市 3ha 7.0%	日高川町 3ha 7.0%	その他 17ha 39.5%		
すいか (96 ha)	印南町 40ha 41.7%	御坊市 16ha 16.7%	紀の川市 11ha 11.5%	和歌山市 6ha 6.3%	その他 23ha 24.0%			
いちご (61 ha)	打田町 16ha 26.2%	貴志川町 7ha 11.5%	粉河町 4ha 6.6%	御坊市 3ha 4.9%	湯浅町 3ha 4.9%	みなべ町 3ha 4.9%	その他 25ha 41.0%	

※いちごの数値は平成16年 (農林水産統計年報)

(市町村別統計検討協議会調べ)

作付面積 (果菜類) (ha)							
[平21]	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
きゅうり	12,400	83	38	0.7	群馬	福島	宮崎
トマト	12,400	117	34	0.9	熊本	茨城	千葉
なす	10,400	64	44	0.6	新潟	群馬	山形
ピーマン	3,400	43	26	1.3	茨城	宮崎	岩手
すいか	12,100	96	22	0.8	熊本	千葉	山形
いちご	6,580	57	33	0.9	栃木	福岡	熊本

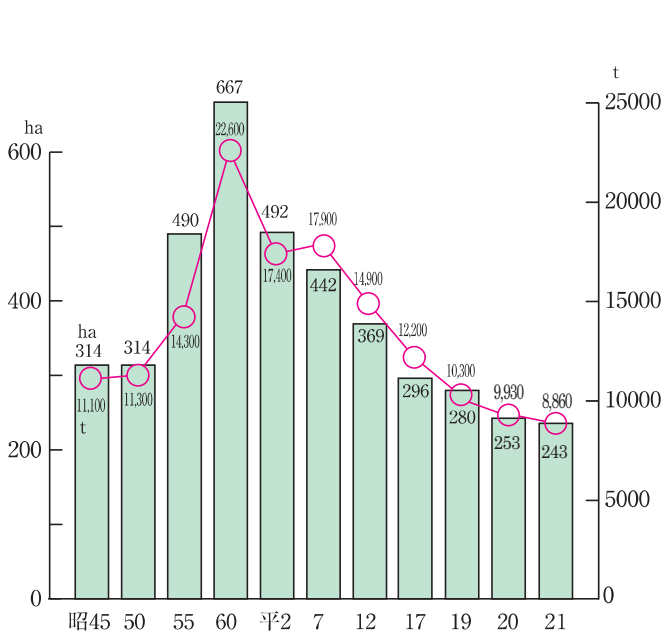
※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

※いちごの数値は平成19年

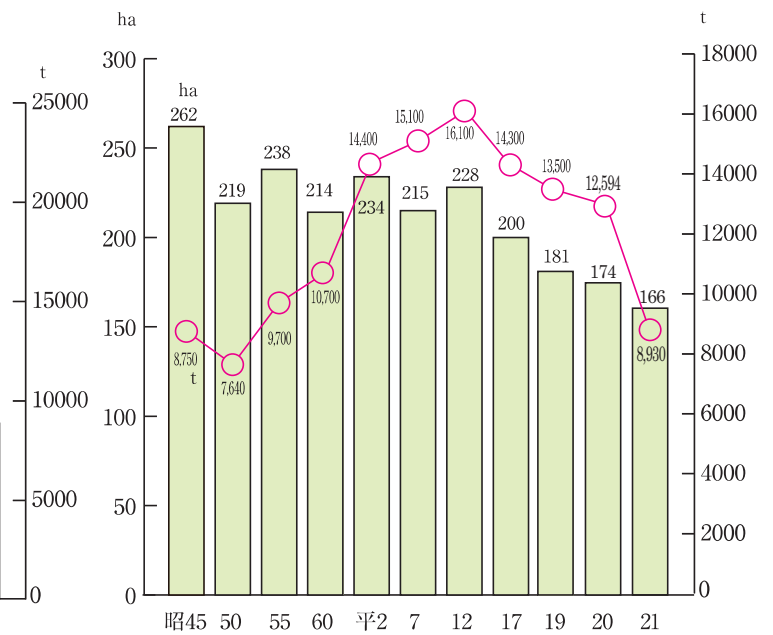
# 葉茎菜類の作付面積及び収穫量の推移

- 近年、栽培面積、収穫量ともに減少傾向である。
- 21年産は集中豪雨の影響により11月～12月出荷の品目で収穫量が大幅に減少した。

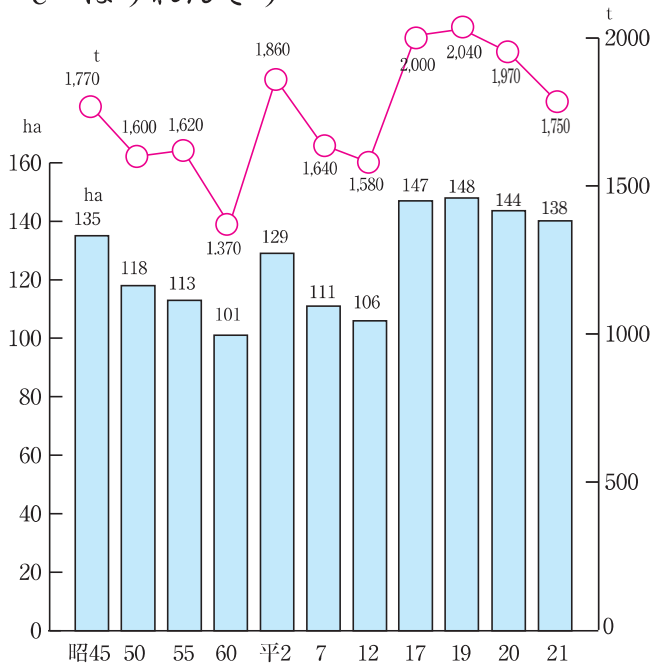
a キャベツ



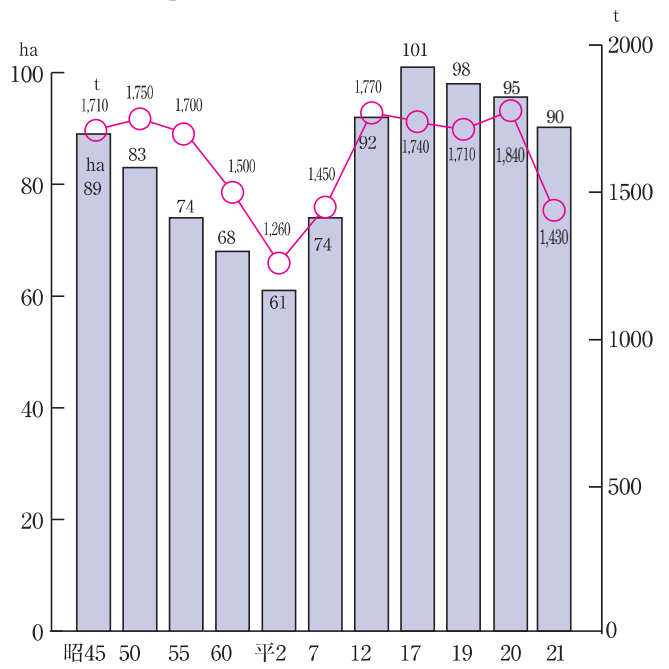
b はくさい



c ほうれんそう



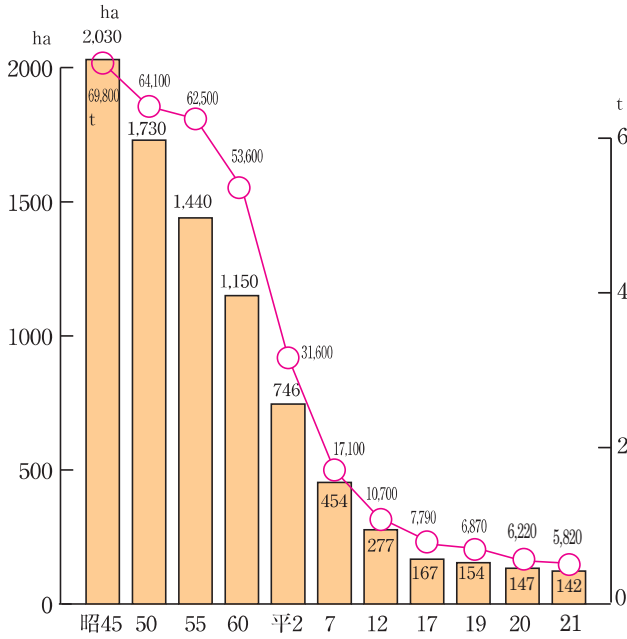
d ねぎ



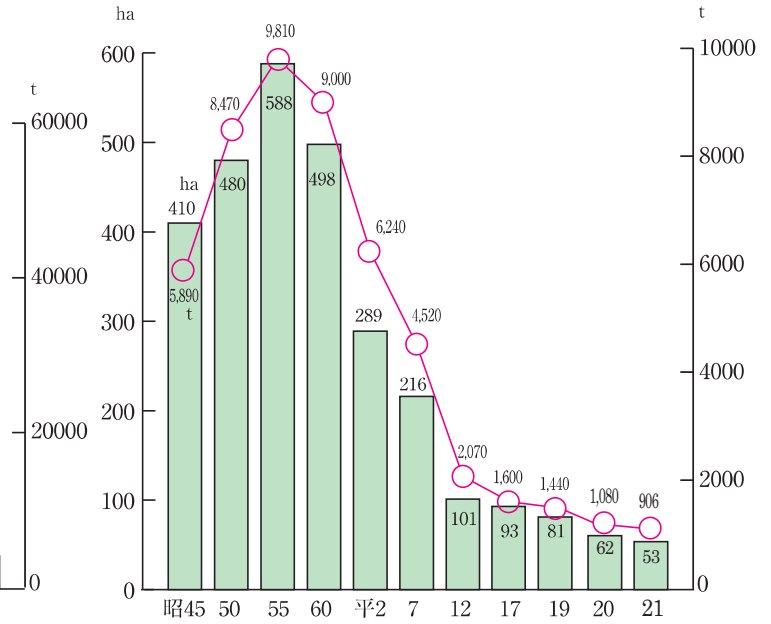
□ 作付面積 (ha)      ○— 収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

e たまねぎ



f レタス



(野菜生産出荷統計)

□ 作付面積 (ha)    ○ 収穫量 (t)

市町村別・葉茎菜類の作付面積 (平21)

キャベツ (243ha)	和歌山市	岩出市	紀の川市	御坊市	その他
	164ha 67.5%	17ha 7.0%	14ha 5.8%	13ha 5.3%	35ha 14.4%

はくさい (166ha)	和歌山市	岩出市	御坊市	紀の川市	その他
	81ha 48.8%	18ha 10.8%	15ha 9.0%	14ha 8.4%	38ha 22.9%

たまねぎ (142ha)	紀の川市	和歌山市	岩出市	かつらぎ町	その他
	89ha 62.7%	7ha 4.9%	7ha 4.9%	5ha 4.2%	33ha 23.2%

冬レタス (53ha)	御坊市	白浜町	和歌山市	日高川町	その他
	16ha 30.2%	10ha 18.9%	9ha 17.0%	5ha 9.4%	13ha 24.5%

0 50 100

(市町村別統計検討協議会調べ)

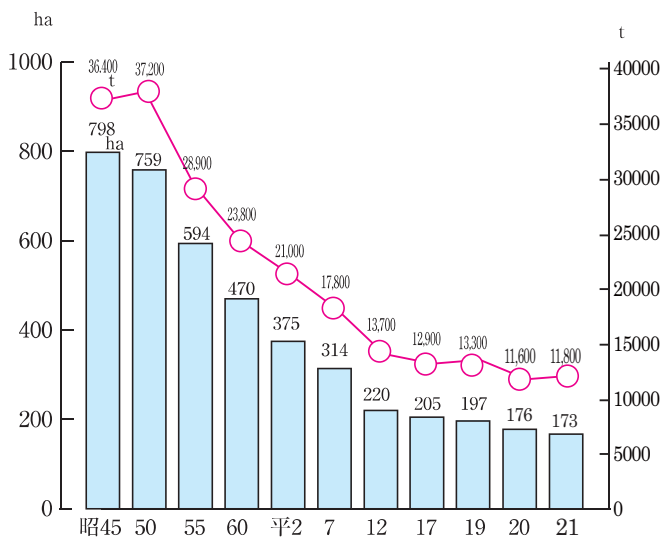
作付面積 (葉茎菜類)		(ha)					
[平21]	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
キャベツ	33,280	243	33	0.7	愛知	群馬	千葉
はくさい	18,580	166	30	0.9	茨城	長野	北海道
ほうれんそう	22,400	138	38	0.6	千葉	埼玉	群馬
ねぎ	23,190	90	44	0.4	千葉	埼玉	茨城
たまねぎ	24,000	142	24	0.6	北海道	佐賀	兵庫
レタス	20,830	53	31	0.3	長野	茨城	兵庫

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

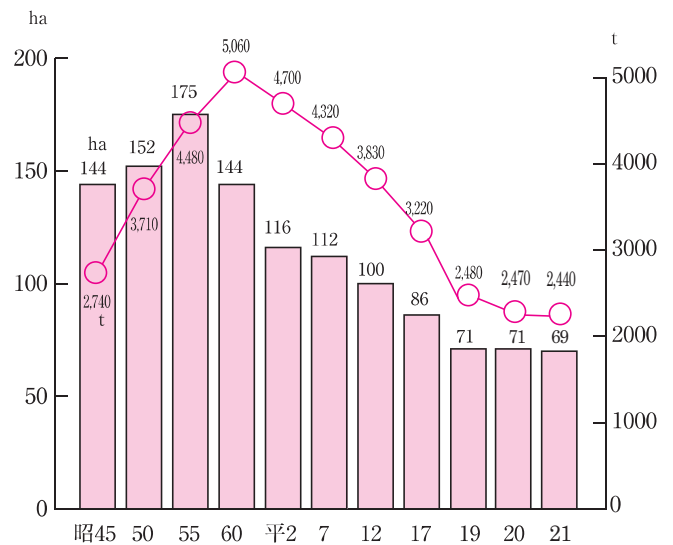
## 根菜類及び豆類の作付面積と収穫量の推移

- だいこん・にんじん・さといも・えんどう：栽培面積の減少が続いていたが、その傾向は近年やや鈍化している。

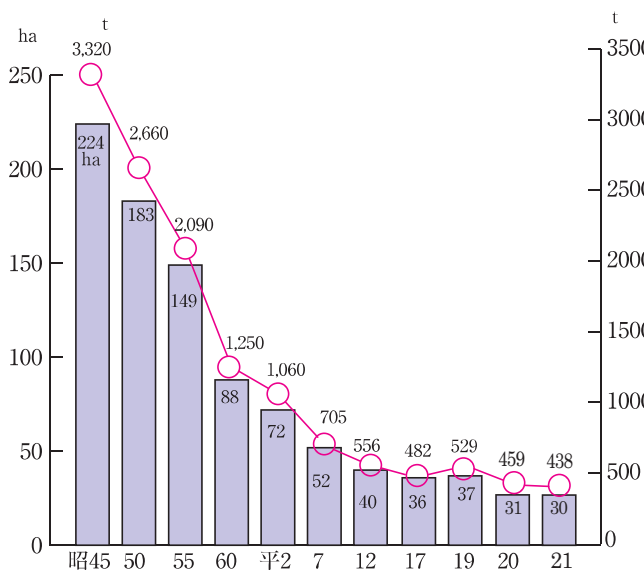
a だいこん



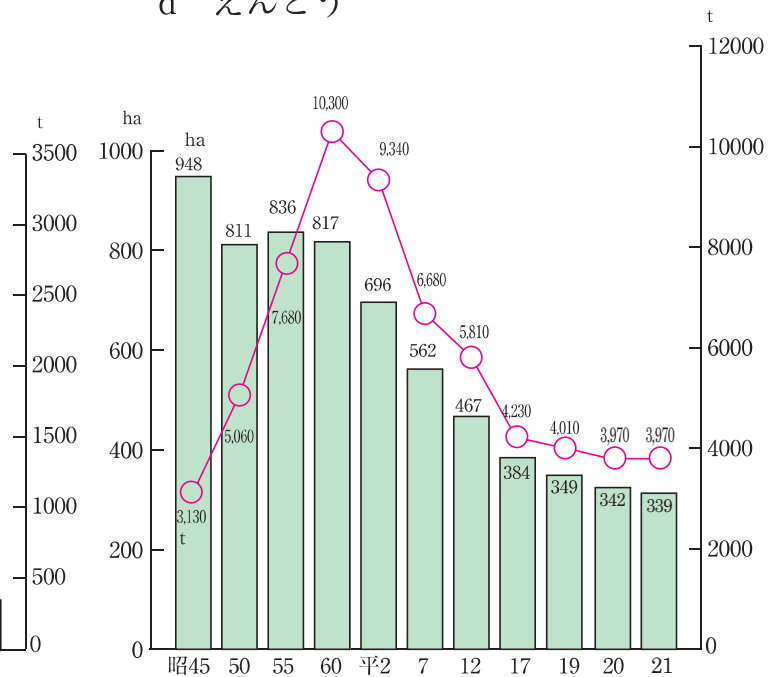
b にんじん



c さといも



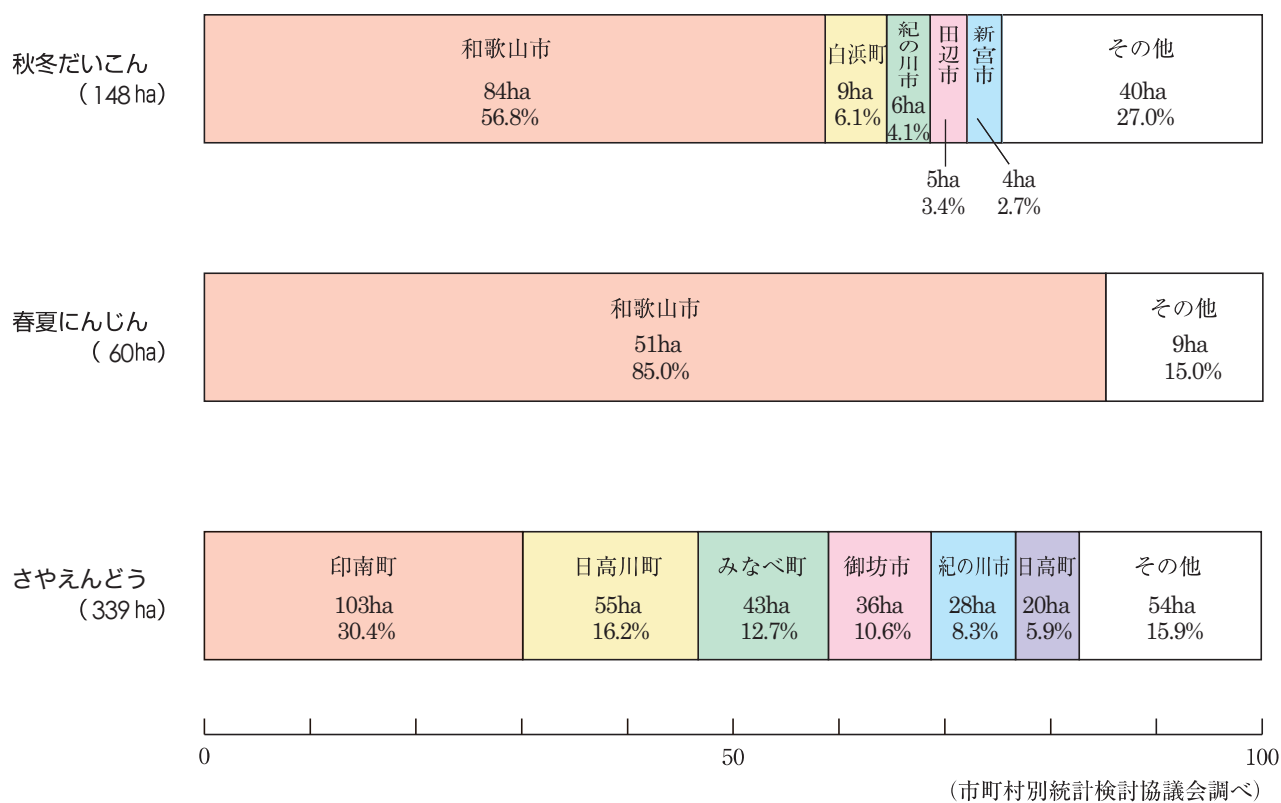
d えんどう



□ 作付面積 (ha)      ○ 収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

## 市町村別・根菜類及び豆類の作付面積（平21）



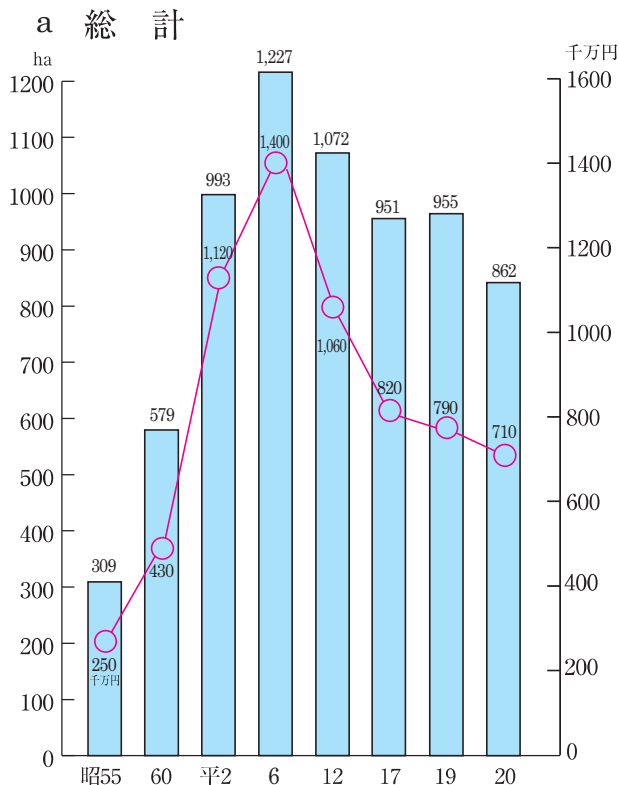
作付面積（根菜類・豆類）							
〔平21〕	和歌山県				1位	2位	3位
	全国 実数	和歌山 実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
だいこん	36,380	171	42	0.5	北海道	青森	千葉
にんじん	19,040	60	33	0.3	北海道	千葉	青森
さといも	14,000	30	44	0.2	千葉	宮崎	鹿児島
えんどう	4,230	339	3	8.0	鹿児島	福島	和歌山

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

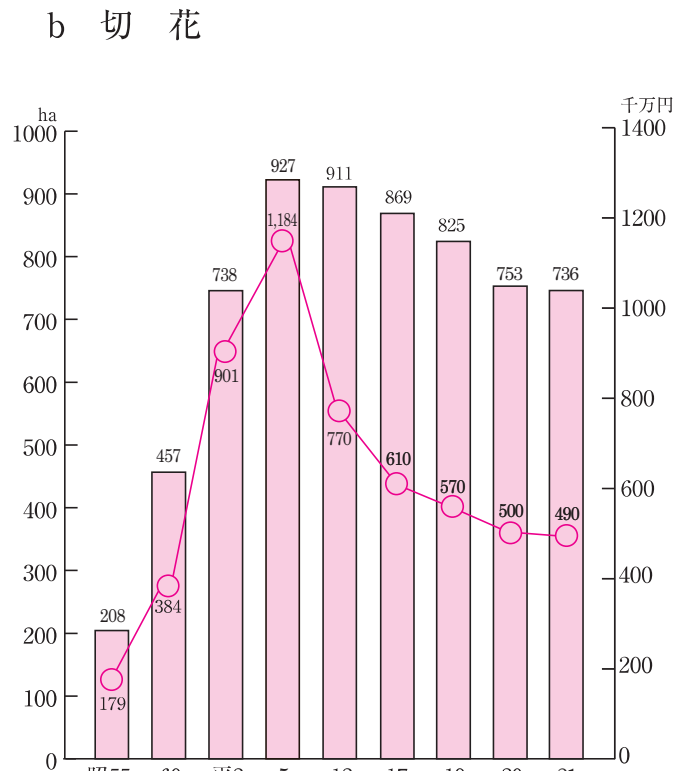
(野菜生産出荷統計)

## 花き生産の推移

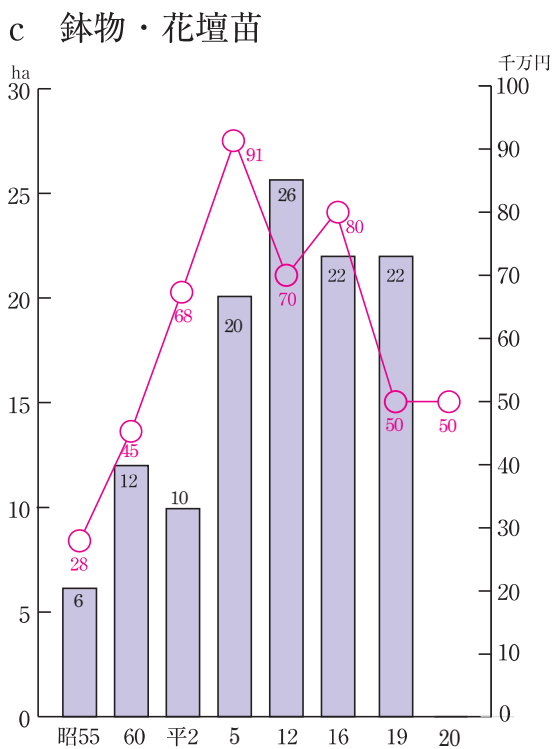
花き全体の栽培面積は昭和60年から平成2年にかけて需要の増加や野菜からの転換により急激に増加している。その後の推移は平成6年をピークに微減となっている。



(花き生産出荷統計、花木等生産状況調査、生産農業所得統計)

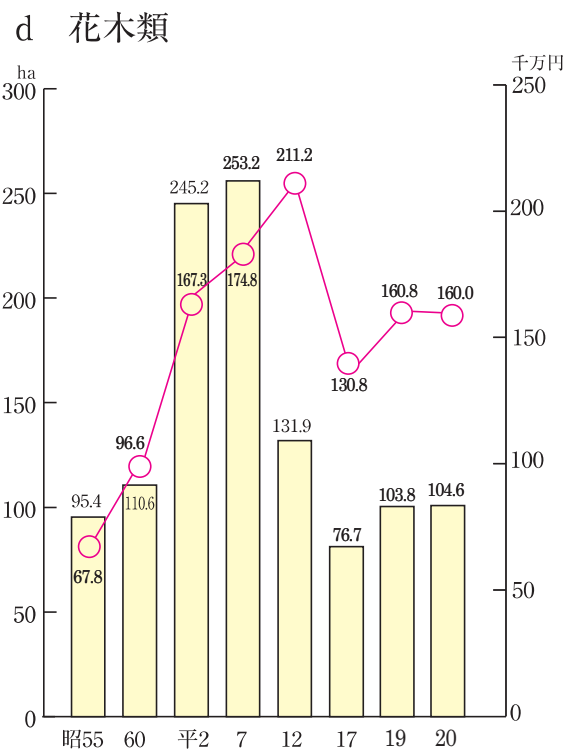


(花き生産出荷統計、生産農業所得統計)



※平20の作付面積の数値はない。

(花き生産出荷統計、生産農業所得統計)



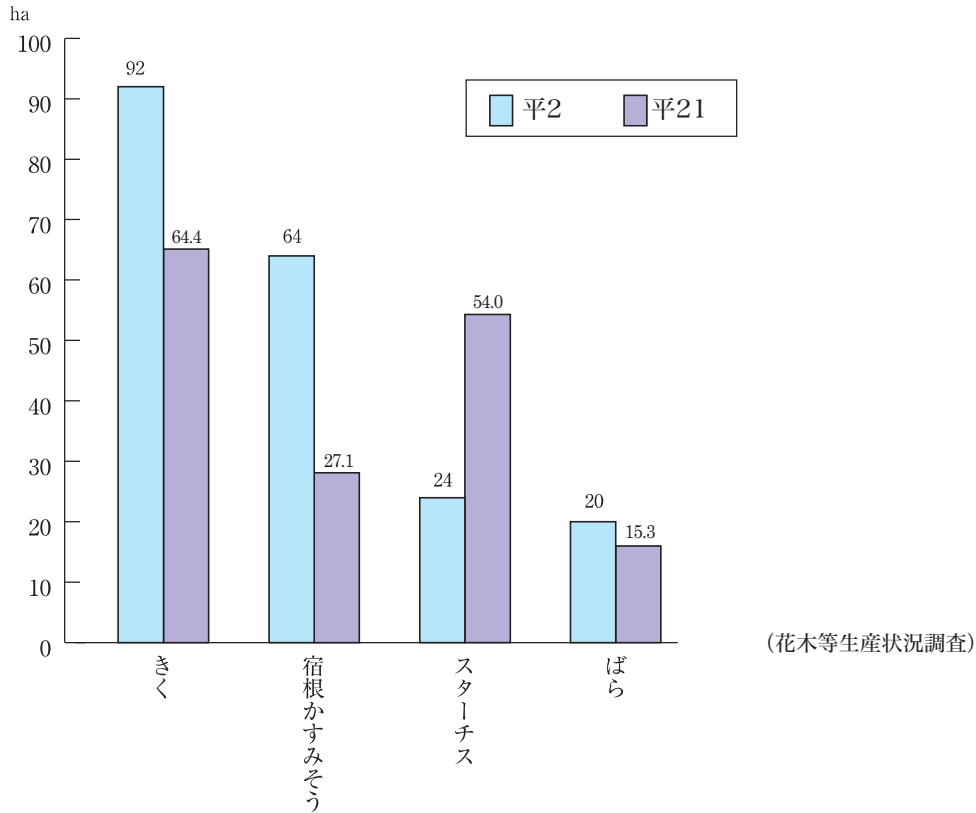
(花木等生産状況調査)

□ 作付面積 (ha)      ○— 生産額 (千万円)

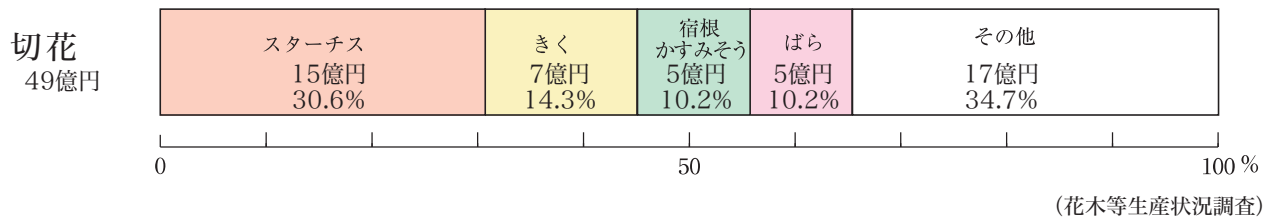
※ただし、a総計の一部(花木類、地被植物類)及びd花木類については生産額  
 生産額：市場で取引された農作物の金額  
 生産額：生産された農作物の金額(生産額及び未出荷額を含む)



## 主要切花の作付面積



## 切花生産額の品目別割合 (平21)



産出額 (花き)							
[平21]	(億円)						
	全国 実数	和歌山 実数	和歌山 順位	和歌山 シェア(%)	1位 県名	2位 県名	3位 県名
スターチス	45	15	2	33.3	北海道	和歌山	長野
宿根かすみそう	33	5	3	15.2	熊本	福島	和歌山

(花木等生産状況調査)

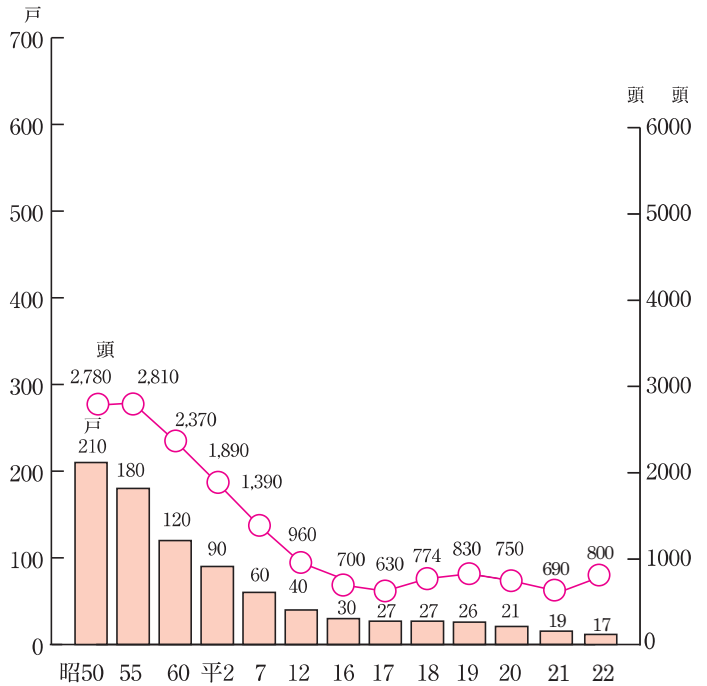
# 家畜の飼養戸数及び飼養頭羽数の推移

畜産農家数はすべての部門で前年に比べ減少している。

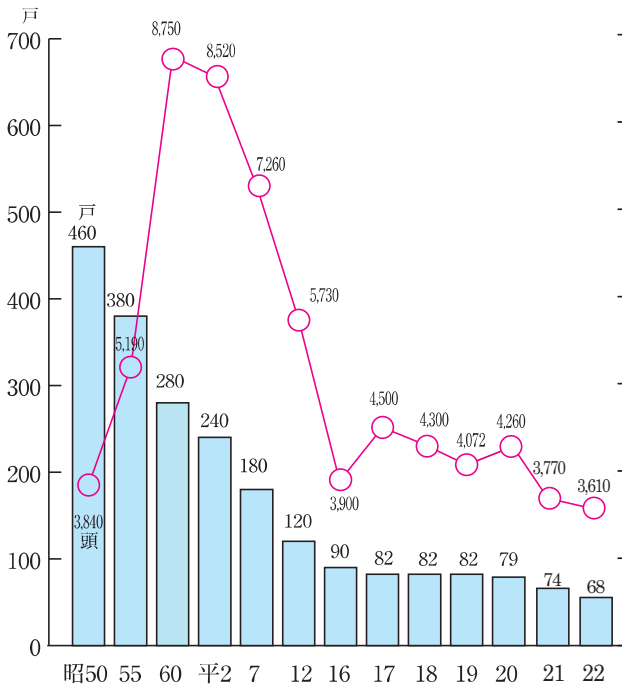
飼養頭羽数はすべての部門で年々減少傾向にあるが、昭和50年代と比べ1戸当たりの飼養頭羽数は大幅に増加しており、すべての部門で経営の大規模化が図られている。

(採卵鶏の農家戸数は平成元年より300羽以上のみ、平成9年より1,000羽以上のみ、平成14年より種鶏農家除く。)

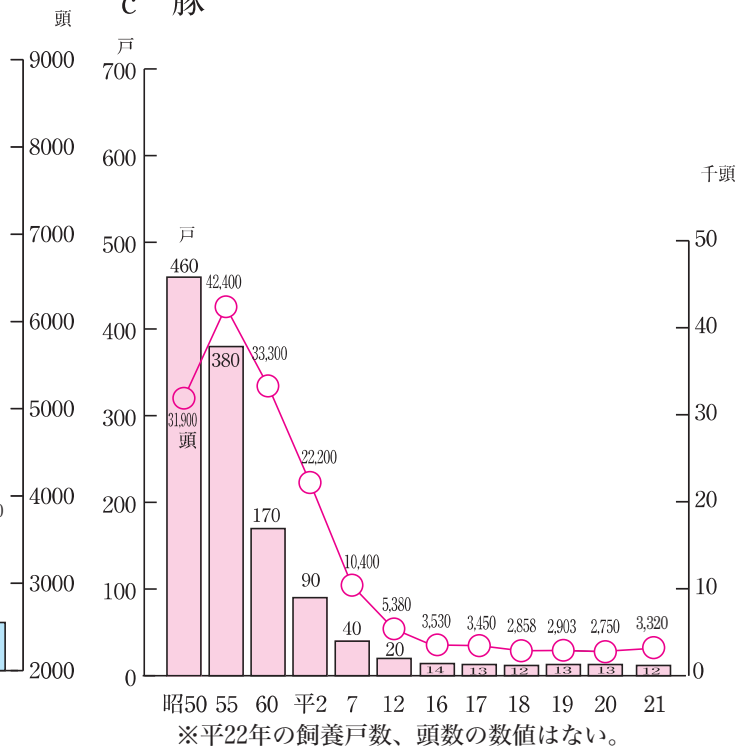
## a 乳用牛



## b 肉用牛



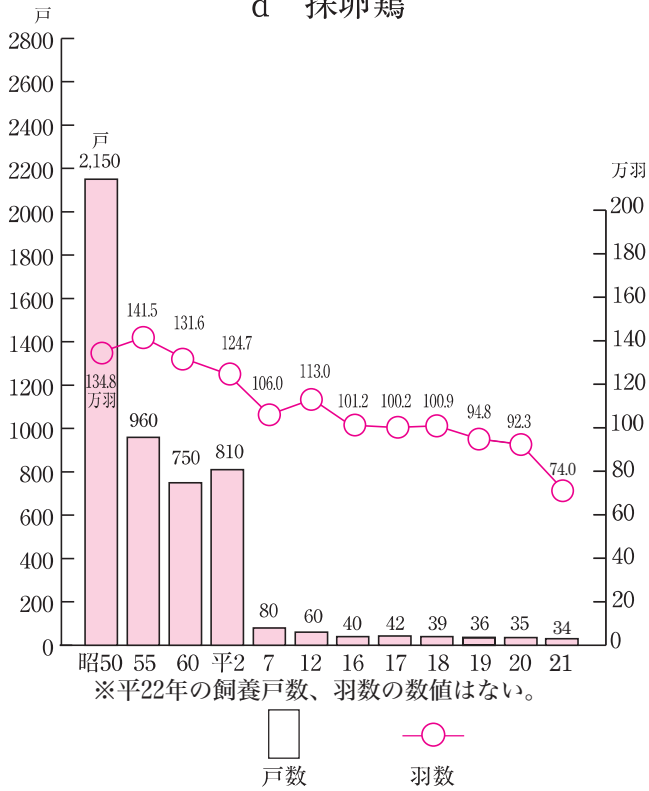
## c 豚



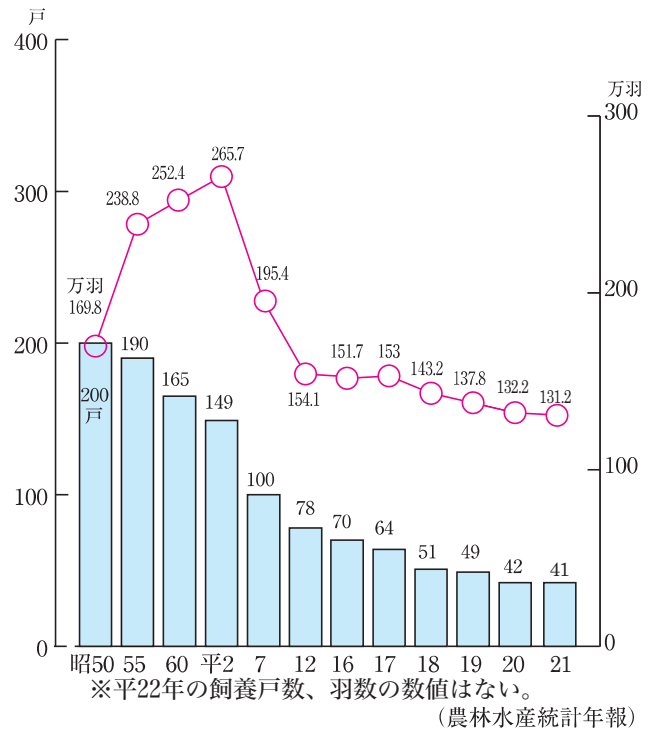
□ 戸数      ○ 頭数

(農林水産統計年報)

d 採卵鶏



e ブロイラー



(農林水産統計年報)

市町村別・家畜飼養頭羽数 (平22:乳用牛・肉用牛、平21:豚・採卵鶏 (成鶏めす))

乳用牛 (800頭)	古座川町 389頭 48.6%	紀の川市 93頭 11.6%	海南市 78頭 9.8%	その他 240頭 30.0%	
肉用牛 (3,610頭)	日高川町 740頭 20.5%	紀の川市 486頭 13.4%	和歌山市 281頭 7.8%	那智勝浦町 280頭 7.8%	その他 1,823頭 50.5%
豚 (3,320頭)	かつらぎ町 1,149頭 34.6%	和歌山市 1,083頭 32.6%	有田川町 488頭 14.7%	その他 600頭 18.1%	
採卵鶏 (成鶏めす) (659千羽)	橋本市 324千羽 49.2%	紀の川市 105千羽 15.9%	有田川町 60千羽 9.1%	その他 170千羽 25.8%	

(県畜産課業務資料)

		家畜の飼養頭羽数・戸数						
		全国	和歌山県		1位	2位	3位	
		実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
飼養頭羽数	乳用牛(頭)	1,484,000	800	47	0.1	北海道	栃木	岩手
	肉用牛(頭)	2,892,000	3,610	43	0.1	北海道	鹿児島	宮崎
	豚(頭)	9,899,000	3,320	47	0.1	鹿児島	宮崎	茨城
	採卵鶏(千羽)	178,208	740	39	0.4	茨城	千葉	愛知
飼養戸数(戸)	乳用牛	21,900	17	47	0.1	北海道	岩手	栃木
	肉用牛	74,400	68	43	0.1	鹿児島	宮崎	岩手
	豚	6,890	12	45	0.2	鹿児島	宮崎	茨城
	採卵鶏	3,110	34	31	1.1	愛知	千葉	鹿児島

※乳用牛・肉用牛〔平22.2.1現在〕、豚・採卵鶏〔平21.2.1現在〕

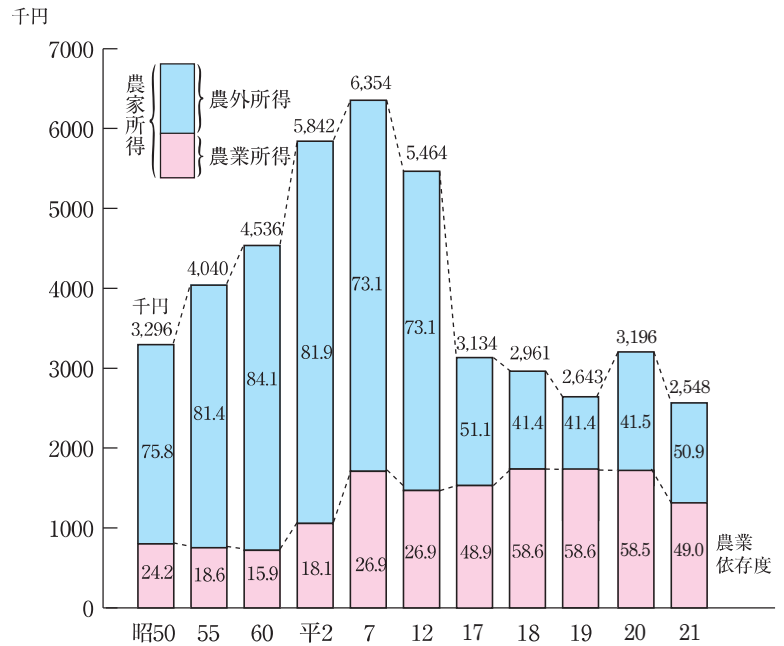
## 5) 農業所得と農業産出額

農業産出額はピークの平成3年で1,737億円となり、昭和45年に比べ3.0倍となっている。しかし、平成11年以降ピーク時の60～70%程度の産出額で推移している。

また、生産農業所得も同様の傾向で平成20年は417億円となり、農家所得の推移も平成8年をピークに減少傾向にある。

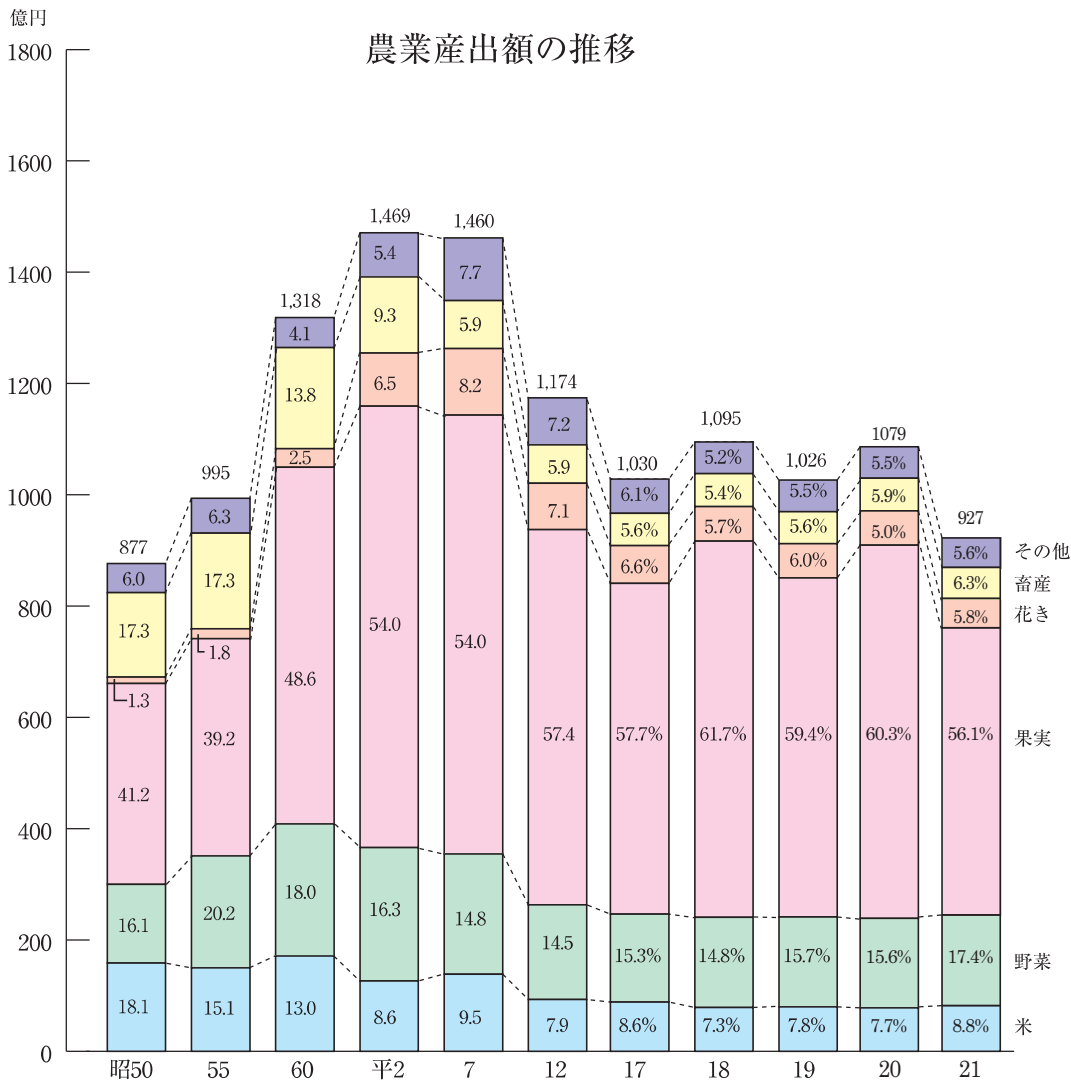
※本調査は、平成16年より調査対象及び調査内容が変更されていますので、ご利用の際はご注意ください。

### 農家所得の推移



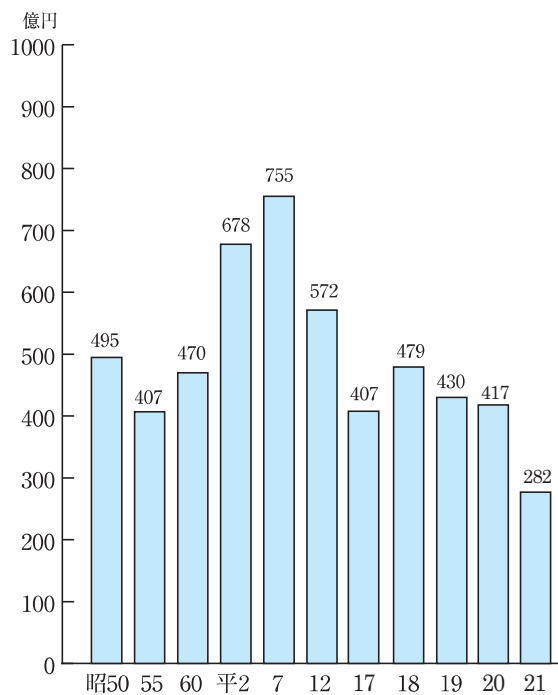
(農林水産統計年報)

### 農業産出額の推移



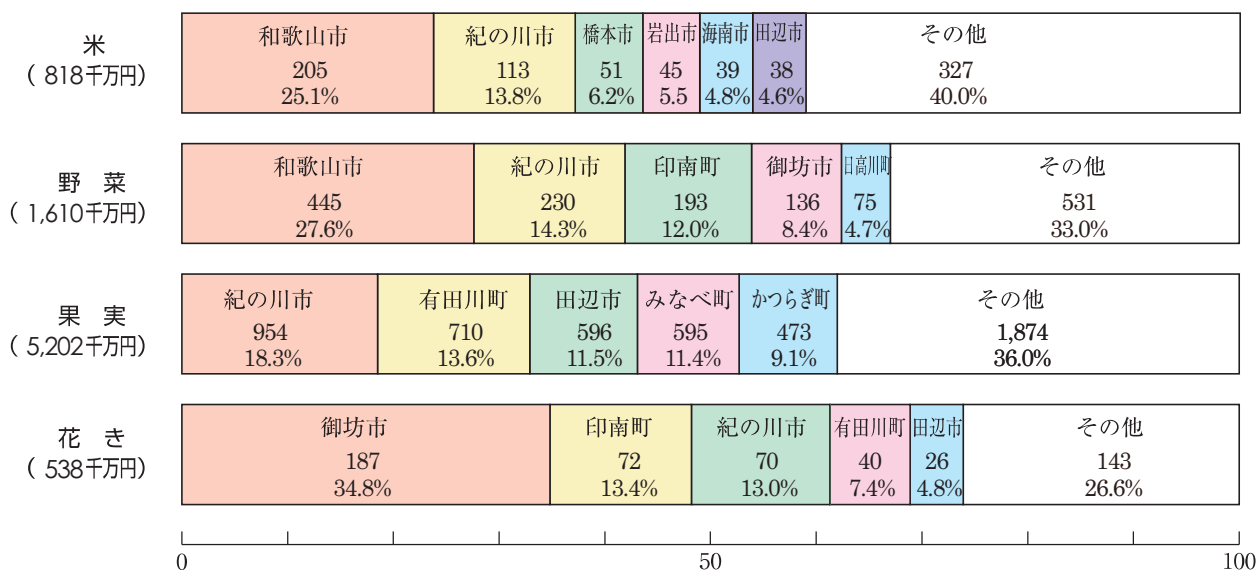
(農林水産統計年報)

## 生産農業所得（県計）の推移



(農林水産統計年報)

## 市町村別・部門別農業産出額（平21）



(市町村別統計検討協議会調べ)

# 農産物産出額上位10品目の推移

平成21年の農産物生産額を品目別にみると、「うめ」と「みかん」で全体の約34%を占めており、1位みかん、2位うめ、3位米、4位かき、5位ももとなっている。



0 50 100

## 6) 農業農村整備事業の基盤整備状況

農業農村整備事業における基盤の整備状況は、畑の農道整備49.4%、かんがい施設整備30.2%、区画整理6.1%で田の区画整理は14.8%となっている。整備済みの農業水利施設については、本格的な保全対策を進めています。

### 1 畑（果樹園・普通畑）の整備状況

項目	年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
畑 面 積 (ha)		24,700	25,200	25,400	25,300	25,100	24,800
農道整備済み面積 (ha)		11,936	12,164	12,167	12,175	12,204	12,253
整備率 (%)		48.3	48.3	47.9	48.1	48.6	49.4
畑地かんがい施設整備済み面積 (ha)		7,269	7,499	7,495	7,501	7,501	7,501
整備率 (%)		29.4	29.8	29.5	29.6	29.9	30.2
区画整理済み面積 (ha)		1,513	1,516	1,516	1,516	1,520	1,520
整備率 (%)		6.1	6.0	6.0	6.0	6.1	6.1

- ・農道整備済みとは、末端農道が整備された畑
- ・畑地かんがい施設整備済みとは、スプリンクラー等の施設が整備されている畑、及び、水源が確保され必要に応じて散水が可能な畑
- ・区画整理には、農地造成を含む

### 2 田の整備状況

項目	年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
田 面 積 (ha)		11,800	11,700	11,400	11,200	10,900	10,700
区画整理済み面積 (ha)		1,540	1,554	1,588	1,588	1,588	1,588
整備率 (%)		13.1	13.3	13.9	14.2	14.6	14.8

- ・区画整理には、30a未満の小区画を含む。

### 3 土地改良施設の整備状況

項目	年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
農業水利施設延長 (km)		—	—	682	682	682	682
保全対策済み延長		—	—	8	16	24	40
ため池の箇所数		5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566
整備済み箇所数		984	1,014	1,051	1,090	1,115	1,136
整備率 (%)		17.7	18.2	18.9	19.6	20.0	20.4
農業集落排水整備対象人口 (人)		67,102	64,019	63,388	62,742	61,878	45,003
整備済み人口		35,257	35,833	40,857	41,045	43,302	43,250
整備率 (%)		52.5	56.0	64.5	65.4	70.0	96.1
広域農道整備済み延長 (km)		64.6	64.6	64.6	65.8	66.9	68.0

- ・農業水利施設延長は、県営事業以上で造成された幹線施設延長
- ・広域農道の整備済み延長は供用開始済みの延長